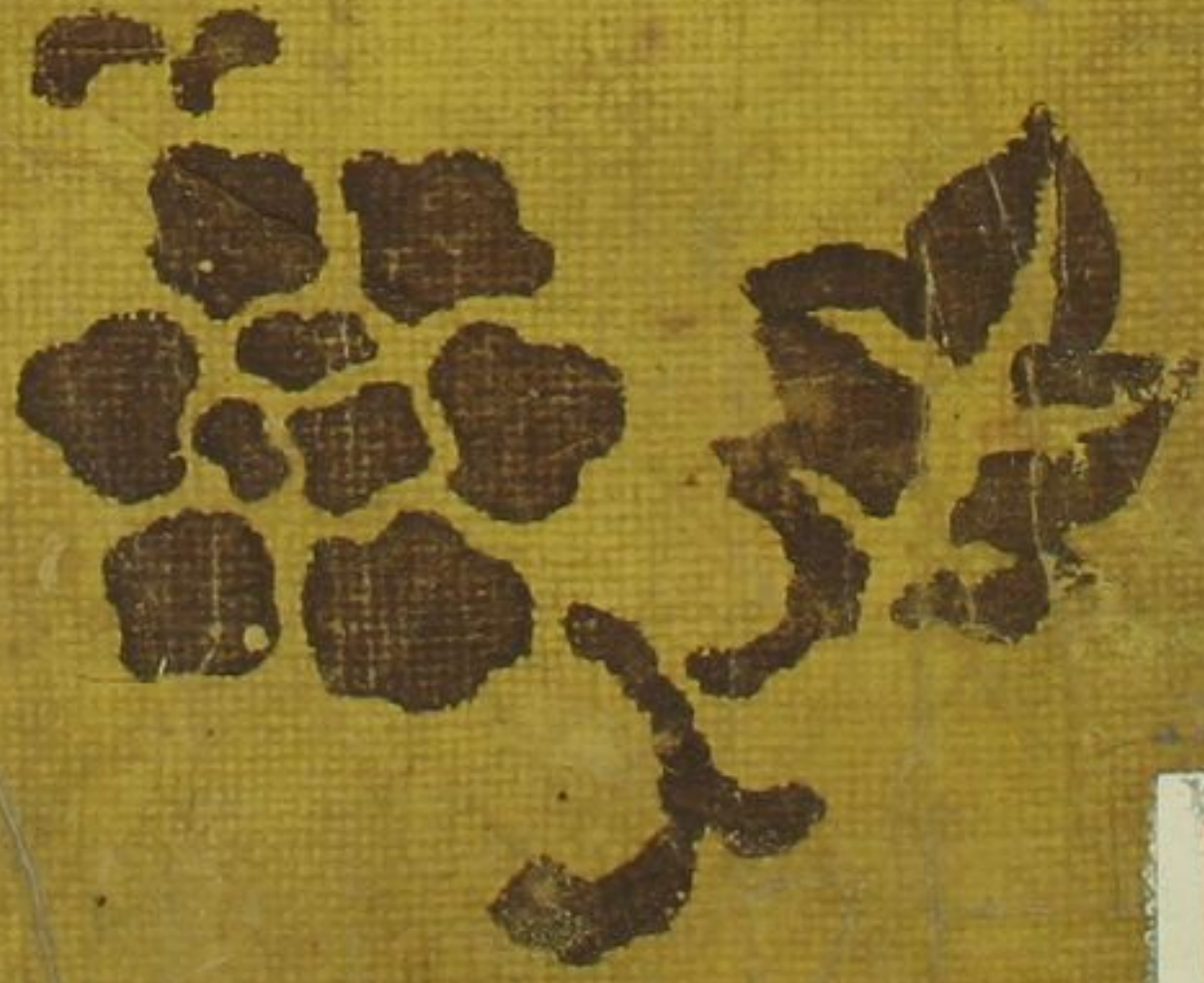




牛加奈博之丸

一	一	一	一
七	七	七	七
辛	辛	辛	辛
年	年	年	年
石	石	石	石
七	七	七	七
辛	辛	辛	辛
年	年	年	年



ホ 2
413
1



る	り	と	ほ	は	い
七 右	六 左	五 左	四 左	七 左	初 丁
を	ぬ	ち	へ	に	ろ
七 左	七 左	六 左	五 左	九 右	四 左





うゝはくはくこのやまきせんにもはひあはれは  
えわろしやろしやろしやろしやろしやろしやろし  
やろしやろしやろしやろしやろしやろしやろし  
せんまのよるよるせしやろしやろしやろしやろし  
文政十二年己丑九月

竹梅園主人

石川雅望

凡例

凡此書凡此書載載るるる文字文字は音訓言語音訓言語の雅俗雅俗は抱抱く日日  
用用便便なるももみみすす下下集集むむてていいるるををおおええるるはは六六字字は  
雅俗雅俗ももんん文章文章に用に用るる所所の文字文字は悉悉くくららげげててききはは  
其其餘餘ハ假字假字ははままぐぐづづききととあありりてて撰撰てて出出せせり

文字文字異異なりなりも訓同訓同きりきりにに其其一一二二と出と出てて餘餘ハ記記ささずず壁壁  
カカハハルルと云と云ふふ歸歸返返後後還還旋旋回回等等ハ数字数字ははららぶぶががあありりききききとと或或者者  
熟字熟字に同音同音ハ文字文字ははららぶぶもも亦亦ハ一一二二と出と出ははののままたたへへも  
丁丁子子ハ假名假名と見出と見出るるらられれ部部の四言四言ハ界引界引の上上よよややれれ字字はは

條で見らるべし

界引の外に記し置く假名は三言ふもあれ四言ふも其部の第二言めは假名とりて分ちこれと見やけり人をせん

上ふまゝに丁子れ字あるは三言れ條より丁字は

見てまゝに丁子れ字あるは三言れ條より丁字は

部のれ文字を捜し索めてそれ丁れ字の假名ちやうは

それより子れ字を合せて見るべきに丁子れ假名ちやうは

例りて餘も準てまゝに

同し文字と二言ふも三言ふもつづれちやうは龍の漢音

つづれちやう吳音はつづれは二タ所よつづれ又同し二言ふ

も假名れ違ふちやうは法れ字漢音ちやうは吳音ちやうは

⑩の部 ちやう音便よつづれはつづれは法師のれ

文字につづれちやう見入る人字同し假名れ異ちやう

とつづれちやう

行の字音はちやうは常よつづれは唱へ油の字

音はつづれちやうは常よつづれは類ひ

は行はかの部もこの部も油の部のゆれ部も見らるべし

すべて音訓も頭字れ假名ちやうは幾所を檢

して尋ね搜すべし

假字引様

○ 界の上は假名文字よりてきまゝなるに二字目の假名の文字とつゞねたるは(祝)とつゞねて見るに(の)此部の三言の部は界の上と(と)つる所の下とを(づ)つと(ひ)と(り)あり  
 ○ 二字目も三字目もつるはの順ふあさぐひあつたきまを  
 見ん人そと(づ)きま(づ)べー  
 い 此お(づ)右とせて書て(り)三段四段ある上の段より(り)  
 ろ 此お(づ)真中(に)あり二段目(り)三段目より(り)  
 え 此お(づ)左(り)と(り)下段より(り)と(づ)べー

文章假字用格卷之一

豊後 大藏永常著

伊部

一言

いイ 伊以異怡易己移夷肄貽詒飴倚猗姨頤圮彘

醫矣意懿衣依辰 寢寐眠宿膽射五

二言

色 いろ 倚廬 いろ 岩 いえ

石 いた 磐 いた 伊庭 いた 射場 いた

我のうちにまじり居るところを

文章假字用格卷一

黄葉園藏

う びらかね つそとよ

文章假字用格卷一 ⑤	優 <small>字音</small>	因 <small>字音</small>	引 <small>字音</small>	殷	姻	伊奈	出	板	烏賊
	いう	いん	いん	いん	いむ	いふ <small>氏</small>	いづいで <small>いづい</small>	いこ	いう <small>魚</small>
	遊	淫	飲	音	茵	鯰	伊豆	磯	五日
	いん	いん	いん	いむ	いふ <small>魚</small>	いづ <small>國名</small>	いそ	いこ	いう
	友	忌	隱	姪	寅	苛	稻	稜威 <small>健きこて</small>	伊豫 <small>出産後五日一當り ていこよとよ</small>
	いう	いむ <small>いみ</small>	いん	いん	いん	いら	いね <small>穀</small>	いづ	いよ <small>國名</small>
	幽	禁	陰	印 <small>印章印判のこと</small>	胤	寐 <small>あききをいふ</small>	寐	何時	伊豫
	いう	いむ <small>いみ</small>	いん	いん	いん	いね	いね	いつ	いよ

黄葉園藏

か るぬり ち と へ 不

紙鳶 <small>弓</small>	射 <small>弓</small>	煎	犬	壹 <small>数のいち</small>	糸	室	宅	五百
いう	いひ <small>ひ</small>	いひ <small>ひ</small>	いぬ <small>獸</small>	いち	いと	いー	いー	いふ
刺 <small>小兒戲玩の具まこ 章魚ととも</small>	悠陽 <small>日のひら</small>	狗	意地 <small>いぢこと云一同ト</small>	最	幼	舍	廬 <small>いり</small>	廬
いぐ	いひ <small>ひ</small>	いぬ <small>獸</small>	いぢ	いと	いと	いー	いふ	いふ
衣架	毛毬 <small>栗の</small>	入	鑄 <small>かたなまを</small>	逸 <small>幼少をいひけり ととも</small>	屋	庵	庵	庵
いう	いぐ	いひ <small>ひ</small>	いさ	いぢ	いー	いふ	いふ	いふ
伊賀 <small>衣折と同ト衣類を うらふ具あり</small>	没 <small>日のいひを日没と云</small>	熬	炒	市	絲	亭	家	家
いぐ <small>國名</small>	いひ <small>ひ</small>	いひ <small>ひ</small>	いひ <small>ひ</small>	いぢ	いと	いー	いー	いー

二言

文章假字用格卷一	岩根	三言	檮	疱瘡	言	異事	異儀	勅
⑤	いんね		いな	いも <small>今、字音よりうらまうと云</small>	いひ	いひ	いぎ <small>異論むご同ト</small>	いき <small>馬具</small>
	屯		椅子	薯蓣	械	石	夢	意氣
	いんぼ		いす <small>腰うけ</small>	いも <small>菜</small>	いひ	い	いめ <small>今、ゆめと云いしくと音通</small>	いき
	岩井			妹	飯	意志	鷓鴣	壹岐
	いゝお氏			いも	いひ <small>食</small>	い	いこ <small>鳥</small>	いき <small>國名</small>
	曰			伊勢	芋	醫師	意味	
黄葉園藏	いさく			いせ <small>國名</small>	いも <small>菜</small>	い	いこ	

乞	邑	姨夫	以下	彌	生	游	憂	祐
いで <small>發語なり</small>	いふ	いふ <small>やくしんぶ</small>	いげ	いや	いく	いう	いう	いう
本來	以後	揖	池	幾	猶	由	誘	
いざ	いご	いふ	いけ <small>のり重きを云やう</small>	いく	いう	いう	いう	⑤二言
卒	愈	謂	辭	育	又	油	宥	
いざ <small>人をさそふこと</small>	いえ <small>いひ</small>	いふ <small>字音あり節會の進退 曲折の時の揖</small>	いや <small>辭退をさそふこと</small>	いく	いう	いう	いう	二
息	弓手	異父	云	今	往	右	抽	有
いさ	い <small>弓の射手</small>	いふ <small>ちのちふ</small>	いふ	いま	いく <small>ゆくともふ</small>	いう	いう	いう



文章假字用格卷一	型 <small>上同ト</small>	筏 <small>竹木をあらなるなり</small>	碇 <small>舟具</small>	已往	容	往太 <small>上同ト</small>	煎海鼠	苘麻 <small>上同ト</small>
⑤	邪 <small>斜よまがるを</small>	桴 <small>上同ト</small>	怒 <small>以前社事と</small>	江豚 <small>魚</small>	乾	寐	曲江	櫟 <small>上同ト</small>
	斜	範 <small>鑄物のい</small>	嗔 <small>上同ト</small>	鮓黄	鮓鮓 <small>魚</small>	香菓	旨	楮 <small>上同ト</small>
	啖 <small>天竺のい</small>	鎔 <small>上同ト</small>	如何	鱒	異類 <small>異類異形とるけり</small>	納	逝 <small>去る</small>	赤檮 <small>玉篇上旨ハ日欲夜也と注せり</small>
	黄葉園藏							

一座	一羽 <small>鳥</small>	暇	挑	異別 <small>こころ</small>	祝	嘶	喘息 <small>上同ト</small>	窟
一儀	一途	從弟	彌	岩瀨	磬手 <small>馬の鳴なり</small>	岩間	驚駭	岩出 <small>地名</small>
一字	厭	伊藤	專	庵	石見 <small>國名</small>	賀	岩城 <small>氏</small>	寤 <small>嬰兒をりしけり</small>
茵	覆盆子 <small>草</small>	一把 <small>一たねに同ト</small>	遑	竈馬 <small>虫</small>	廬			

二言 三言

三



や くれ の う む ら

何日	伊織	優美	游家	隱士	印地	唯	倚頼
いこう	いおり <small>官名</small>	ゆうび	ゆうか	いんし	いんち <small>印地村の地名</small>	いらい <small>唯應答をい</small>	いらい <small>倚頼</small>
生田	育波	壽	猶豫	印子	印可	諾	字音かろりたのこ
いづこ <small>地名</small>	いくは <small>淡路</small>	いのち	ゆうよ <small>たぬらふ</small>	いんす <small>金の位</small>	いんか <small>いんかのこ</small>	いらく	
軍	免缺	命	有餘	蚰	靈雨	忌部	報
いくさ	いんけつ <small>ミツくちのこ</small>	いのち	ゆうよ <small>あまりのこ</small>	いむき <small>小蟹</small>	いんう <small>かたあらし</small>	いんべ <small>氏</small>	いらつ
醫藥	缺唇	祈	遊戯	生見	音呼	印度	荅
いやく	いぐち	いのち	いうげ	いんみ	いんこ <small>字音</small>	いんど <small>天竺</small>	いらん

三言

四

て え こ よ け ま

中矢	休	異國	安忍	異風	異言	未	賤
いえて <small>矢を射</small>	いこひ <small>上と同</small>	いこく <small>外國をい</small>	いざり	いふう <small>常にある風俗あり</small>	いげん	いまご	いや
治	憇	生駒	伊吹	意見	在	乃	界
いさる	いこひ <small>上と同</small>	いこま <small>地名あり</small>	いよき <small>地名</small>	いけん	います	いまし <small>なまじり</small>	いや
異體	療	息	醫國	膽吹	籛	汝	劣
いてい	いさる <small>療治なり</small>	いひ	いこく	いぶき <small>近江</small>	いけす <small>魚をたぐよ置く</small>	いまし <small>あんち</small>	いや
異朝	怡悦	圓柏	籛	坐	愈		
いであ <small>外國をい</small>	いさつ <small>字音</small>	いぶき <small>上と同</small>	いけい	いまは	いやん		

文章假字用格卷一

黄葉園藏

え	ろ	ナ	せ	も
花街 <small>いろうぎ</small> <small>遊所をいふ</small>	鱗 <small>いろうぎ</small> <small>魚れいこうくわんごとも云</small>	色好 <small>いろうき</small>	色々 <small>いろうく</small>	軒 <small>いびき</small>
絃 <small>いろうぎぬ</small>	色濃 <small>いろうこき</small>	色光澤 <small>いろうつや</small>	綵飾 <small>いろうり</small>	治工師 <small>いもど</small>
名色 <small>いろうか</small>	色合 <small>いろうあひ</small>	絢 <small>いろうづ</small>	彩 <small>いろうどり</small>	妹背 <small>いもせ</small>
醫博士 <small>いとうせ</small> <small>医者のものまゝを云</small>	色相 <small>いろうあひ</small>	祥 <small>いろうか</small>	色紙 <small>いろうか</small>	異説 <small>いせつ</small>
四言				鶡 <small>いす</small> <small>鳥</small>
				鎮齋 <small>いもひ</small> <small>齋食の義なり精進のことなり</small>
				妹 <small>いもと</small> <small>縫ひものより</small>
				精進 <small>いもひ</small> <small>上同ト</small>
				蜥蜴 <small>いもり</small> <small>虫</small>
				異絶 <small>いせつ</small>

文章假字用格卷一 (い)

黄葉園藏

ひ	ま	き	さ
疣 <small>いひが</small> <small>今ハシガと云</small>	異人 <small>いどん</small> <small>常のいんこうりいん</small>	石邊 <small>いべ</small> <small>地名</small>	咄哉 <small>いでや</small> <small>發語</small>
杏葉 <small>いびら</small> <small>鞍馬の具</small>	醫者 <small>いしや</small>	石田 <small>いしど</small> <small>氏</small>	先 <small>いでや</small> <small>上同ト</small>
入農 <small>いひの</small> <small>安藝の郷名</small>	醫書 <small>いしよ</small>	異日 <small>いど</small> <small>外の日他日と同ト</small>	哭 <small>いざら</small> <small>あはれをいふ</small>
齋睡 <small>いびき</small>	揖保 <small>いひ</small> <small>播磨の郡名</small>	石津 <small>いしづ</small> <small>地名</small>	漁 <small>いざり</small> <small>魚をとることをいふ</small>
		善悪 <small>いさむ</small> <small>いさむ</small>	渠師 <small>いさむ</small> <small>勇男の義</small>
		瘡 <small>いゆ</small> <small>病</small>	温泉 <small>いでゆ</small>
		諱 <small>いさむ</small> <small>生るを名と云死を諱と云</small>	血泣 <small>いさむ</small>
		熱 <small>いさむ</small> <small>いさむ</small>	異相 <small>いさむ</small> <small>人あやうぬ人相と云</small>
		制 <small>いさむ</small>	伊坂 <small>いさか</small> <small>氏</small>
		藪蒸 <small>いさむ</small> <small>いさむ</small>	石木 <small>いさか</small> <small>甲斐の郷名</small>

(い) 三言

六四

三言 四言

七

岩門	いそと	岩陰	いそかげ	岩茸	いそだけ <small>菌</small>	磐余野	いそれの
射外	いそづら	磐梨	いそが <small>木</small>	茨木	いそご <small>氏</small>	況	いそんや
矧	いそんや	磐戸	いそのと	岩崩	いそごえ	磐座	いそくら
岩倉	いそくら	岩崎	いそさき <small>氏</small>	岩松	いそまつ <small>氏</small>	岩淵	いそぶら <small>氏</small>
岩苔	いそこけ	丹波草	いそひむ <small>草</small>	所謂	いそゆる	岩代	いそしろ
古	いそく	往古	いそく	卷柏	いそひむ <small>草</small>	石長生	いそひむ <small>草</small>
朧目	いそめ	蟪蛄	いそり <small>虫</small>	五音機	いそとこ	五百川	いそがた <small>氏</small>
雖	いそも	家主	いそぬ	家土産	いそづと <small>鳥</small>	兔葵	いそれ <small>草</small>

紀伊の國日高郡の地名なり

地名なり京師の四方にこの林あり

攝津地名

大和の十市郡にあり地名

陸奥地名

家子	いこのこ	最愛	いとけり	糸川	いとがわ <small>氏</small>	金線魚	いそり <small>魚</small>
營	いそかむ	經營	いそかむ	條	いとぢび <small>糸と紐おび</small>	糸鞋	いそぐつ
綻	いそが	繰	いそら	緒	いとぢら	糸捲	いそまらこ
類	いそが	繳射	いとや	遊糸	いとゆい	從身煎	いそこふ
陽炎	いそゆい <small>上と同ト</small>	糸水	いとみづ <small>軒の玉水と同ト</small>	糸尻	いとぢり	線	いそすぢ
織	いそすぢ	級	いそすぢ	一鑑	いそり <small>金</small>	一籠	いそらう
市原	いそはら <small>氏</small>	市橋	いそはら <small>氏</small>	鳶尾	いそはら <small>草</small>	一同	いそどう
一軸	いそぢく	無花果	いそく <small>木</small>	一流	いそりう	一粒	いそり <small>木穀より</small>

文章假字用格卷一

黄葉園藏

堅きものことさきよけれ柔きものをわづらひりつきて但し朝をひそそふ今詞をいひしりあむ

射るることりて鳥をとる具なり

糸木綿の義春のそと糸の如くちりくとみま

一類	いちるい	一往	いちまう	一椀	いちえん	一槩	いちがい
一蓋	いちざい	一代	いちざい	一鴈	いちう	意地無地	いちむぢ
一院	いちえん	一合	いちがふ	一户	いちの	一應	いちおう
一隅	いちぐう	一合	いちがふ	肆	いちごら	一陽	いちやう
一樣	いちやう	一枚	いちまい	一毛	いちもう	一藝	いちげい
一腰	いちよう	一葉	いちえふ	一帖	いちてふ	一貼	いちてふ
一疊	いちでふ	一條	いちじやう	逸足	いちあ	駿足	いちあ
移住	いちぢう	一命	いちめい	一尋	いちじん	一仗	いちじやう
一汁	いちぢう	一圓	いちまる	市姫	いちひめ	逸物	いちもの

四言

八

回曲	いりやが	入用	いりまう	煎釜	いりかべ	炒鍋	いりかべ
曲折	いりくま	入組	いりぐみ	煎豆	いりまめ	入込	いりこ
日没	いりあひ	薄暮	いりあひ	晚鐘	いりあひ	入綾	いりあや
煎炭	いりすす	犬養	いぬさひ	入汐	いりあせ	鴈	いりあひ
奴柘	いぬつげ	搜疏	いぬくこ	馬蓼	いぬこて	紅草	いぬこて
釣夫	いをつり	漁罟	いをあ	薑植	いぬまこ	狼尾草	いぬひえ
何處	いろうが	鷓鴣	いろうが	商陸	いをす	斑鳩	いろうが
雷	いろうぢ	五十嵐	いごら	盞	いんぞ	穰粟	いごら

文章假字用格卷一

い

黄葉園藏

回曲 入奉加の意  
 曲折 いりくま  
 日没 入相の意  
 煎炭 源氏に見ゆ舞の終の予ゆり  
 奴柘 いぬつげ  
 釣夫 いをつり  
 何處 丹波郡名  
 雷 いろうぢ  
 鷓鴣 鳥なり鳩の一種斑鳩とくとも同し  
 五十嵐 いごら氏  
 盞 いんぞ  
 穰粟 いごら  
 入用 いりまう  
 入組 いりぐみ  
 薄暮 上り同し  
 煎釜 いりかべ  
 煎豆 いりまめ  
 晚鐘 上り同し  
 入汐 いりあせ  
 馬蓼 いぬこて  
 薑植 いぬまこ  
 商陸 いをす  
 斑鳩 いろうが  
 穰粟 いごら  
 鴈 肉の雁  
 紅草 いぬこて  
 狼尾草 いぬひえ  
 斑鳩 大和を播磨も地名有  
 穰粟 いごら

如何様	いどう	如何様	いどう	如何様	いどう	如何様	いどう	如何様	いどう	如何様	いどう
魏敷	いみ	魏敷	いみ	魏敷	いみ	魏敷	いみ	魏敷	いみ	魏敷	いみ
彌	いみ	彌	いみ	彌	いみ	彌	いみ	彌	いみ	彌	いみ
勞	いろう	勞	いろう	勞	いろう	勞	いろう	勞	いろう	勞	いろう
板銀	いばんぎん	板銀	いばんぎん	板銀	いばんぎん	板銀	いばんぎん	板銀	いばんぎん	板銀	いばんぎん
戴	いだい	戴	いだい	戴	いだい	戴	いだい	戴	いだい	戴	いだい
平題箭	いへいだいせん	平題箭	いへいだいせん	平題箭	いへいだいせん	平題箭	いへいだいせん	平題箭	いへいだいせん	平題箭	いへいだいせん
板縁	いばんぎん	板縁	いばんぎん	板縁	いばんぎん	板縁	いばんぎん	板縁	いばんぎん	板縁	いばんぎん
黒	いれず	黒	いれず	黒	いれず	黒	いれず	黒	いれず	黒	いれず
如何様	いどう	如何様	いどう	如何様	いどう	如何様	いどう	如何様	いどう	如何様	いどう
鈿	いんげん	鈿	いんげん	鈿	いんげん	鈿	いんげん	鈿	いんげん	鈿	いんげん
器量	いりやう	器量	いりやう	器量	いりやう	器量	いりやう	器量	いりやう	器量	いりやう
森々	いもり	森々	いもり	森々	いもり	森々	いもり	森々	いもり	森々	いもり
幼氣	いせいけ	幼氣	いせいけ	幼氣	いせいけ	幼氣	いせいけ	幼氣	いせいけ	幼氣	いせいけ
頂	いとう	頂	いとう	頂	いとう	頂	いとう	頂	いとう	頂	いとう
徒	いとら	徒	いとら	徒	いとら	徒	いとら	徒	いとら	徒	いとら
衡鏑	いへいとう	衡鏑	いへいとう	衡鏑	いへいとう	衡鏑	いへいとう	衡鏑	いへいとう	衡鏑	いへいとう
不致	いふせい	不致	いふせい	不致	いふせい	不致	いふせい	不致	いふせい	不致	いふせい
歟	いれず	歟	いれず	歟	いれず	歟	いれず	歟	いれず	歟	いれず
争	いうてり	争	いうてり	争	いうてり	争	いうてり	争	いうてり	争	いうてり
何體	いうてい	何體	いうてい	何體	いうてい	何體	いうてい	何體	いうてい	何體	いうてい
愈	いよく	愈	いよく	愈	いよく	愈	いよく	愈	いよく	愈	いよく
板橋	いばんきやう	板橋	いばんきやう	板橋	いばんきやう	板橋	いばんきやう	板橋	いばんきやう	板橋	いばんきやう
虎杖	いこざ	虎杖	いこざ	虎杖	いこざ	虎杖	いこざ	虎杖	いこざ	虎杖	いこざ
閑	いひら	閑	いひら	閑	いひら	閑	いひら	閑	いひら	閑	いひら
板倉	いばんくら	板倉	いばんくら	板倉	いばんくら	板倉	いばんくら	板倉	いばんくら	板倉	いばんくら
板敷	いばんしき	板敷	いばんしき	板敷	いばんしき	板敷	いばんしき	板敷	いばんしき	板敷	いばんしき
鬧	いそが	鬧	いそが	鬧	いそが	鬧	いそが	鬧	いそが	鬧	いそが

四言

九

鬧忙	いそが	鬧忙	いそが	鬧忙	いそが	鬧忙	いそが	鬧忙	いそが	鬧忙	いそが
功勳	いこう	功勳	いこう	功勳	いこう	功勳	いこう	功勳	いこう	功勳	いこう
一杯	いぱい	一杯	いぱい	一杯	いぱい	一杯	いぱい	一杯	いぱい	一杯	いぱい
一統	いとう	一統	いとう	一統	いとう	一統	いとう	一統	いとう	一統	いとう
一肴	いさかな	一肴	いさかな	一肴	いさかな	一肴	いさかな	一肴	いさかな	一肴	いさかな
何茂	いげも	何茂	いげも	何茂	いげも	何茂	いげも	何茂	いげも	何茂	いげも
五緒	いご	五緒	いご	五緒	いご	五緒	いご	五緒	いご	五緒	いご
嚴	いげん	嚴	いげん	嚴	いげん	嚴	いげん	嚴	いげん	嚴	いげん
一封	いふう	一封	いふう	一封	いふう	一封	いふう	一封	いふう	一封	いふう
鬧忙	いそが	鬧忙	いそが	鬧忙	いそが	鬧忙	いそが	鬧忙	いそが	鬧忙	いそが
磯貝	いそがひ	磯貝	いそがひ	磯貝	いそがひ	磯貝	いそがひ	磯貝	いそがひ	磯貝	いそがひ
一遊	いゆう	一遊	いゆう	一遊	いゆう	一遊	いゆう	一遊	いゆう	一遊	いゆう
泉原	いづみ	泉原	いづみ	泉原	いづみ	泉原	いづみ	泉原	いづみ	泉原	いづみ
何方	いづこ	何方	いづこ	何方	いづこ	何方	いづこ	何方	いづこ	何方	いづこ
何然	いづなり	何然	いづなり	何然	いづなり	何然	いづなり	何然	いづなり	何然	いづなり
一雙	いすわう	一雙	いすわう	一雙	いすわう	一雙	いすわう	一雙	いすわう	一雙	いすわう
一花	いっか	一花	いっか	一花	いっか	一花	いっか	一花	いっか	一花	いっか
一喉	いこう	一喉	いこう	一喉	いこう	一喉	いこう	一喉	いこう	一喉	いこう
鬧忙	いそが	鬧忙	いそが	鬧忙	いそが	鬧忙	いそが	鬧忙	いそが	鬧忙	いそが
磯谷	いそが	磯谷	いそが	磯谷	いそが	磯谷	いそが	磯谷	いそが	磯谷	いそが
詐	いそが	詐	いそが	詐	いそが	詐	いそが	詐	いそが	詐	いそが
一俵	いづら	一俵	いづら	一俵	いづら	一俵	いづら	一俵	いづら	一俵	いづら
一階	いづかい	一階	いづかい	一階	いづかい	一階	いづかい	一階	いづかい	一階	いづかい
一黨	いづたう	一黨	いづたう	一黨	いづたう	一黨	いづたう	一黨	いづたう	一黨	いづたう
日外	いづろ	日外	いづろ	日外	いづろ	日外	いづろ	日外	いづろ	日外	いづろ
一通	いづと	一通	いづと	一通	いづと	一通	いづと	一通	いづと	一通	いづと
一景	いづけい	一景	いづけい	一景	いづけい	一景	いづけい	一景	いづけい	一景	いづけい
何頃	いづころ	何頃	いづころ	何頃	いづころ	何頃	いづころ	何頃	いづころ	何頃	いづころ
鬧忙	いそが	鬧忙	いそが	鬧忙	いそが	鬧忙	いそが	鬧忙	いそが	鬧忙	いそが
五十君	いそご	五十君	いそご	五十君	いそご	五十君	いそご	五十君	いそご	五十君	いそご
偽	いそが	偽	いそが	偽	いそが	偽	いそが	偽	いそが	偽	いそが
一柄	いっぺい	一柄	いっぺい	一柄	いっぺい	一柄	いっぺい	一柄	いっぺい	一柄	いっぺい
沃懸	いづかけ	沃懸	いづかけ	沃懸	いづかけ	沃懸	いづかけ	沃懸	いづかけ	沃懸	いづかけ
一體	いったい	一體	いったい	一體	いったい	一體	いったい	一體	いったい	一體	いったい
向太	いづた	向太	いづた	向太	いづた	向太	いづた	向太	いづた	向太	いづた
一顆	いっかく	一顆	いっかく	一顆	いっかく	一顆	いっかく	一顆	いっかく	一顆	いっかく
逸景	いづけい	逸景	いづけい	逸景	いづけい	逸景	いづけい	逸景	いづけい	逸景	いづけい
逸徹	いづてつ	逸徹	いづてつ	逸徹	いづてつ	逸徹	いづてつ	逸徹	いづてつ	逸徹	いづてつ

文章假字用格卷一

黄葉園藏

文章假字用格卷一	淫精	音問	音書	姪虚	應帝	陰陽	印子	印陀羅	陰德
⑤	いんせい	いんもん	いんしょ	いんきょ	いんてい <small>船乗の草の名</small>	いんやう	いんのこ	いんがら <small>梵語</small>	いんとく <small>功</small>
⑤	陰燧	音物	淫泆	陰虚	音札	隱元	引卒	茵陳	
月の水きく器なり	いんすい	いんぶつ	いんたつ	いんきょ	いんさつ	いんげん <small>人名</small>	いんそつ <small>祇園をそとる小児の まつとひかり</small>	いんちん <small>草</small>	
	誘引	引接	瘡癩	隱居	印材	陰燿	陰囊	姪欲	
	いんいん	いんげつ <small>引事と同じ心あり</small>	いんらん <small>病名</small>	いんきょ	いんざい	いんやう <small>螢火のこと</small>	いんぼう <small>人身</small>	いんよく	
	優遊	陰晴	隱者	音信	慇懃	因縁	因果	姪亂	引導
黄葉園藏	いんゆう	いんせい <small>天氣のりりとうらやま</small>	いんしや	いんしん	いんきん	いんえん	いんぐわ	いんらん	いんだう

ひ	不入	印南野	蝗	電	一睡	逸民	一菜	一程	逸散	一艘
ら	いんしやう	いんなんの	いかむし	いかづま <small>電光</small>	いつふね	いつえん	いつさい	いつてい	いつさん	いつさう <small>舟</small>
なれ	引入	印籠	稻目	稻妻	禾鉤	一支苦	一切	一才	一才	一休
	いんいふ	いんろう <small>器</small>	いなのめ	いかつま	いねき	いつく	いつさい	いつさい	いつさい	いつきう <small>人名</small>
	姪犯	印判	利鬼	嘶	稻扱	一笑	一才	一艘		
	いんがん	いんはん	いらく <small>萬葉に見えうり號の こくまがめよ同</small>	いあく <small>馬の啼き</small>	いねこぎ <small>農具</small>	いつせう	いつさい	いつさう		
	隱遁	印肉	蝘	困	稻垣	一聲	一休	一艘		
	いんとん	いんにく	いらむし <small>蝘</small>	いかつら <small>稻倉あり</small>	いながき <small>氏</small>	いつせい	いつきう	いつさう		

⑤ 四言

十



今程	今橋	今柄	今川
いまほど	いまた	いまた	いまたがわ
今更	今宮	今迄	今迄
いまた	いまみや	いままで	いままで
戒	誠	牲	儀
いまめ	いままこと	いけい	いげい
生捕	擒	虜	生俘
いけい	いけい	いけい	いけい
活捉	生世	生身	生垣
いけい	いけい	いけい	いげい
池永	生唼	不審	未審
いけい	いげい	いげい	いげい
鬱悒	妨嫌	出入	出入
いげい	いげい	いげい	いげい
揖宿	齋籠	出立	装
いげい	いげい	いげい	いげい
將々	出榮	出立	装
いげい	いげい	いげい	いげい

今程	今橋	今柄	今川
いまた	いまた	いまた	いまたがわ
今更	今宮	今迄	今迄
いまた	いまみや	いままで	いままで
戒	誠	牲	儀
いまめ	いままこと	いけい	いげい
生捕	擒	虜	生俘
いけい	いけい	いけい	いけい
活捉	生世	生身	生垣
いけい	いけい	いけい	いげい
池永	生唼	不審	未審
いけい	いげい	いげい	いげい
鬱悒	妨嫌	出入	出入
いげい	いげい	いげい	いげい
揖宿	齋籠	出立	装
いげい	いげい	いげい	いげい
將々	出榮	出立	装
いげい	いげい	いげい	いげい

文章假字用格卷一

①

黄葉園藏

四言

十一



ろ せ も

文章假字用格卷一 ①	羊躑躅	色深	海鰕	鎔工	敢	言捨	言籠	言遣
	いそつと <small>木</small>	いろあま	いせえひ <small>魚</small>	いもの	いもがら <small>芋の莖</small>	いひすそ	いひこめ	いひやう
	營實	色好		鑄物師	芋蠟	飯七	赤蟻	言曲
	いむらのみ <small>實</small>	いろよめ		いもの	いもむ <small>虫</small>	いひえ <small>器</small>	いひあり <small>虫</small>	いひまげ
	烏韭	卷蓮華		芋飯	蠟	妹驅	邑代	言消
いそのひげ <small>草</small>	いそれんげ <small>草</small>		いもめ <small>食</small>	いもむ <small>虫</small>	いもがり <small>妹の許のこころ</small>	いひら <small>遠江郷名</small>	いひけし	
			鮎	妹	薯蓣粥	飯櫃	言伏	
			いせごひ <small>魚</small>	いもうと	いもがゆ	いひひ <small>器</small>	いひよせ	

五言

黄葉園藏

ひ

言退	鱒魚	言拔	檠柱子	石本	銅發貢	神機銃	石戸	石碑
いひのく	いひご <small>魚</small>	いひぬく	いひすそ <small>上二同ト</small>	いひすそ <small>上二同ト</small>	いひびや <small>上二同ト</small>	いひびや <small>軍器 石火矢の義</small>	いひさう <small>石工を云</small>	いひご <small>碑銘を云</small>
言延	飯蛸	飯沼	言入	礎	鮫	大煩	石工	鮠
いひのく	いひご <small>魚</small>	いひぬま <small>地名</small>	いひいれ	いひすそ <small>柱のりすそ</small>	いひら <small>魚</small>	いひびや <small>上二同ト</small>	いひさう	いひご <small>魚</small>
飯尾	言附	言勝	鶴鷓	石磧	石首	佛郎機	石弩	鮫鯉
いひのを <small>氏</small>	いひつけ	いひろ	いひとよ <small>鳥</small>	いひすそ <small>上二同ト</small>	いひら <small>魚</small>	いひびや <small>上二同ト</small>	いひゆ	いひご <small>穿山甲の一名</small>
言置	言成	言立	言脱	柱磔	石摺	西洋砲	醫術	磴
いひおく	いひなり	いひ立て	いひぬけ	いひすそ <small>法帖のこ</small>	いひすそ	いひびや <small>上二同ト</small>	いひあつ	いひご <small>石坂</small>

① 四言

石韋 いそめうい草

石薜 いそぶす草

石莧 いそやまき草

岩枕 いそまつら 哥の詞あり

石菖 いそあやめ草

石清水 いそしみづ 八幡宮鎮座あり 地名

過年 いしうしう 前年先年と云ふ同し

蝻螂 いざりし 虫

主人公 いしのかみ 今俗に旦那と云ふ非

家風 いこのかぜ 一家風といふよおあつ常一 一家を立てると云ふ此意なり

貨屋 いしやう 一をう

芋 いづついも 菜

寵愛 いとけい 寵愛

最強 いそつう

纒 いとりのび 糸の敷なり

糸威 いとがせ 鎧

紡車 いとぐま 器

最安 いそやす

遑 いそまゐ

訣別 いそまじひ

暇乞 いとまごひ

告辭 いそまごひ

幼稚 いそけい

族父 いそむぢ

從姪 いそこのこ

堂妹婿 いそこむこ

從嫂 いそしやう

糸櫻 いとざくら 糸の櫻

幼 いそき

鍾愛 いそあひ 鍾愛

厭蕪 いとひらね 厭蕪

厭果 いとひなて 厭果

一日程 いそひらち 一日程

嚴捷 いそたつ 嚴捷

早卒 いそそや 早卒

一重 いそぶらち 一重

一丈 いそぶらち 十尺を一丈といふ

一定 いそぢやう 一定

一錠 いそぢやう 金銀より 一錠

一里塚 いそりづか 海道一里毎に左右あり

里塚 いそりづか 一里塚

一領 いそぢやう 鎧具足より 一領

一輛 いそりやう 車より 一輛

一兩 いそりやう 量目現今四匁を以て 一兩

成市 いそぢやう 成市

一大事 いそぢやう 一大事

一宮 いそぢやう 國々あり二宮三宮あり 一宮

闡 いそぢやう 闡

市正 いそぢやう 官名 市正

一卷 いそぢやう 書物より 一卷

一行 いそぢやう 一行

市女笠 いそぢやう 器 市女笠

灼然 いそぢやう 灼然

文章假字用格卷一

黄葉園藏

著	明白あること	いちぢやう	著明	いちぢやう
一旬	十日をいふ	いちぢやう	一熟	いちぢやう
入違	いりちがひ	入替	入亂	いりまじれ
小蘗	いねまらぶ <small>木</small>	麻黄	葶藶	いねまらぶ <small>草</small>
千年艾	いねよもぎ <small>草</small>	狗蠅	鯁	いさをのり <small>魚骨</small>
鰓	いさをのり <small>魚腸</small>	若箇	杜父魚	いりりや <small>魚</small>
何為	いんがせん <small>俗にまろくかなひと云ふ同ト</small>	若為	伊賀專	いりたうめ
源氏物語に見ゆ狐を	いんがせん <small>源氏物語に見ゆ狐を</small>	何也	海蝶蛸	いりのふ
紙鳶	いりのかり <small>小兒戯玩の具今江戸にたるといふ</small>	何也	春聲君	いりのかり <small>上同ト</small>

かをぬり

風禽	いりのかり <small>上同ト</small>	毫兒	いりのかり <small>上同ト</small>	伊香故山	いりこや <small>近江地名</small>
不畏	いんがせん <small>おそろしきこといふ同ト</small>	不戴	いんがせん	痛入	いんがせん
勞敷	いんがせん	板庇	いんがせん	流矢	いんがせん
文蛤	いんがせん <small>貝</small>	割青	いんがせん <small>今俗にやりのいんがせん</small>	膚割	いんがせん <small>上同ト</small>
點青	いんがせん	内子菱	いんがせん <small>添小紋の名</small>	沓蓋	いんがせん
入子鉢	いんがせん <small>器</small>	鬧	いんがせん	磯宮	いんがせん <small>伊勢の宮</small>
石上	いんがせん <small>大和の地名まことに枕詞</small>	一泓立	いんがせん <small>一流といふ同ト</small>	何連	いんがせん
一張	いんがせん	一町	いんがせん <small>道のり三十六間をいふ</small>	一丁	いんがせん <small>駕鋤鉄などいふ</small>
一挺	いんがせん <small>墨をいふ</small>	一炷	いんがせん <small>香具をいふ</small>	孰早	いんがせん

たそつ

文章假字用格卷一

黄葉園藏

一縮	一尺	終身	泉川	逸興	嚴島	一貫	安	仁
いんちやく	いっさく	しゅうしん	いづみがわ	いつさきよう	いつくしま	いっくわん	あんぞ	にん
一宿	一勺	一唱	一興	一會	一會	一會	焉	慈
いっしやく	いっさく	いっしょう	いっきよう	いっかい	いっかい	いっかい	ん	に
一周忌	一酌	一升	一生	一脚	一曲	一回	一管	恩惠
いっしゅうき	いっしやく	いっしょう	いっせい	いっしやく	いっしやく	いっかい	いっくわん	おんゑい

五言

十六

小祥	又側	野様	電	掣電	郎姬	印匹	印形	遊興
いっしょう	いねがわ	いんぎよう	いんびやく	いんびやく	いらつひめ	いんびやく	いんぎよう	いっしきよう
禾擔	寢安	村装	霹靂	不入物	羊桃	引卒	陰莖	優長
いねあひ	いねやす	いんさう	いんびやく	いらぬもの	いらつたご	いんそつ	いんぎよう	いっしやう
難寢	因幡山	蚱蜢	閃電	長物	伊羅胡崎	音呼鳥	飲食	有識
いねがわ	いんぱん	いんご	いんびやく	いらぬもの	いらつこ	いんこ	いんじき	いっしき

文章假字用格卷一

①

黄葉園藏

禱死

いのちごひ

連翹

くちを草

郁李仁

うりえ薬

幾許

いくそむく

幾多

いくそむく

幾永

いくながく

幾廻

いくまわり

幾万里

いくまんり

將軍

いくさぎん

士卒

いくさびと

艨艟

いくさぶね

戰艘

いくさぶね

艦

戦船

いくさぶね

幾久

いくひさ

再從兄弟

またいとこ

苟

いやしく

彌上

いやがう

凶

いまく

今参

新参のこと

いままあり

今出川

地名あり

いまでがわ氏

新好

今様といふこと

いまめう

含靈

いけもの

不忍者

情ありのこゝし

いづりめ

道説

いぢめ

向道

いぢめ

言儘

いままふ

生駒山

大和の平群郡あり

いこまやま

難愈

いそがう

漁舟

漁獵の舟

いさりぶね

勇魚取

海とらげよめる枕詞

いさかとり

被唱

さそりん

いざかひ

潦水

浅き小川

いさらづ

異相人

いさなりとん

いさなりとん

不知哉川

近江鳥籠山の川あり

いそやがわ

勇敷

いさまき

残太

いさたら

潔

いそぎよ

浄

いそぎよ

生佛

いそがけ

憤

腹をこら

いそどかり

愠

いそどかり

於邑

いさどかり

悶

いそどかり

生靈

いまをり

蘓

いさろ

更生

いさろ

生見玉

七月十五日

いさろ

窮鬼

貧乏神なり

いさすま

檣

戦の具なり

いさざき

甃

敷石なり

いさざき

鶴鴒

いさざき鳥

磔

宝玉なり

いさたま

石帯

装束あり

いさおび

砮

いさやま

文章假字用格卷一

い

黄葉園藏

五言

十七

言静	言覺	言防	言廻	許嫁	言繫	言傳	言散	碓車
いひあづめ	いひさとし	いひまへ	いひまへ	いひあづけ	いひつめ	いひつめ	いひちり	いひま
言凌	言嘔	言合	言負	言碎	言宥	言募	言堅	言釋
いひあのみ	いひさそ	いひあひ	いひまけ	いひく	いひあづめ	いひつめ	いひさめ	いひあづ
言噤	言究	言當	言會	錫	言靡	言綴	言損	言隔
いひすめ	いひきつめ	いひあて	いひあづめ	いひさ	いひあひけ	いひつめ	いひそへ	いひへ

五言

十八

妹夫	芋魁	芋洗	伊勢椿	六言	耽色	石遊	况夫
いもとむこ	いもがら	いもあらひ	いせつばき		いもいろ	いそくが	いそんやそれ
義妹	芋名月	一口	五十鈴川		迷色	膀胱	岩碂
いもとらん	いもなづき	いもあひ	いすずがは		いもいろ	いそり	いそのた
芋磨	芋黄	妹背山	伊勢の國度會郡		磐椽樟船	溺白塗	磐手森
いもあら	いものこ	いもせやま	紀伊の伊都郡		いそくびね	いそりのを	いそでのり

文章假字用格卷一

①

黄葉園藏



平 へ と ち ね せ

岩木濱	いんぎのまま	岩漏水	いそるろう	五百代小田	いひらうをい
<small>万葉に見えり今の十町 むらりよあられり</small>		家長	いのおか	哀不忍聴	いひりたり
最假初	いそりそあ	最尊	いそたす	最媚	いそまめく
不違	いそあはら	念	いそあはら	鴉尾草	いそつごさ
<small>暇のなごさ</small>				一志浦	いちしうら
一捻紅	いちでんこう	<small>牡丹の異名唐の玄宗の 名づくるところなり</small>		<small>伊勢に古母と云くとも</small>	
龍葵	いぬさくき	山薑	いぬさくき	牽牛	いぬさくき
野豌豆	いぬさくき	西北風	いぬさくき	厲風	いぬさくき
		<small>成実の方角より吹き云</small>		澤瀉	いぬさくき
犬谷	いぬのさみ	犬追物	いぬおつもの	魚丁	いぬさくき
<small>犬のこゝろ</small>		<small>騎射に馬上三物の一</small>		<small>魚頭</small>	
鹿藿	いぬさくき	入佐山	いぬさくき		
		<small>但馬出右郡あり</small>			

か ね け け け

育黄鶯	いこがぎ	孰謂	いさうても	啞物喰	いさうのさ
伊香保沼	いさかのぬま	痛々敷	いさうさ	板敷山	いさうさ
<small>地名 上野</small>				<small>出羽 名所</small>	
磯間浦	いそまのうら	食言	いさうご	一簞食	いさうご
<small>地名 紀伊</small>				<small>顔子の故事</small>	
五重	いそまのうら	壁生草	いそまのうら	一風流	いそまのうら
<small>俗に十二單衣といふ</small>				<small>今世より人知れぬをいふ</small>	
齋童	いそまのうら	一揆起	いそまのうら	齋院	いそまのうら
<small>住吉</small>				<small>賀茂</small>	
齋宮	いそまのうら	稻舂蟹	いそまのうら	苛心	いそまのうら
<small>伊勢</small>					
淫白魚	いんぱくぎよ	印池	いんぱくぎよ	隱遁者	いんぱくぎよ
<small>魚</small>					
結印	いんせむすぶ	射向袖	いむけのそで	隱元豆	いんげんまめ
<small>真言宗の印相なり</small>		<small>具足の左のそで</small>			
扁豆	いんげんまめ	隱居所	いんげんまめ	陰氣成事	いんげんまめ
<small>穀</small>					

文章假字用格卷一

黄葉園載

石橋山	片子	無言甲斐	池塘	彌珠	良將	生田浦	天命	苛々敷
いせがしやま	いんげん	いふひめ	いけのぼり	いよめづら	いんげん	いけたのぼり	いのちまじら	いんげん
相模の國足柄の下の郡あり古戰場なり	勇猛	是當人	陂頭	忌々敷	彌高山	幾万歳	射塚	遊宴地
	いさまたけ	いそとよび	いけのぼり	いさゝか	いよたかやま	いそまんざい	いけふごころ	いそえのち
石燈籠	車螯	有功人	魎魚	今般時	彌衰	戎車	異口同音	壽
いとうろう	いそとよび	いささきびと	いけいのみを	いまのとき	いよおと	いそちん	いごの人の同一	いのちなが

石鳥居	石盤	砒磷	言刷	言慣	言拵	姨	岩紺青
いのとりわ	いさりの	いりりけ	いひつら	いひめ	いひら	いせむすめ	いそくろ
石華表	石鹽沼	言外	失聲	言旬	句當		茨住吉
いのとりわ	いさねま	いそとよ	いそとよ	いひの	いひあせ		いせら
石山寺	駁船	言傾	言宥	炊湯	言妨		黄葉園藏
いせやま	いせやね	いひさ	いひめ	いひの	いひま		いせら

七言

文章假字用格卷一

黄葉園藏

地名



むらじ の けま さき ま

稲負鳥 <small>古今集三鳥の一</small>	平形誦珠 <small>佛具</small>	居無何	未幾	存命	命全	忌火御飯 <small>公事根源見えり</small>	陰蝕瘡 <small>病</small>	殷紂王 <small>人名</small>	淫羊藿 <small>草</small>	活殺	放生 <small>放生會やう 八月十五日八幡宮にて八神事</small>	起兵	時勢粧 <small>當世風こりよ同ト</small>	十六夜月	異香薰 <small>よのつひならぬよた香やう</small>	生松原 <small>統前の早良郡より</small>	石割雪踏
わかおかせどり	いらたうぶゆい	いけつころう	いけむもく	いのちあがく	いのちまづ	いんこのごもん	いんやうくさ	いんのちうりう	いんやうくさ	いけつころう	いけむもく	いんごをとおん	いんやうくさ	いざよひのつと	いんごのまづむら		

ひ とやち りろ

石打征矢 <small>石打ハ鷹の羽の名</small>	穿山甲 <small>鯨鯉皮なり</small>	八言	言繫置	岩本渡 <small>地名</small>	廬戸都 <small>大和</small>	絲竹遊 <small>琴笛を合せたうたをいふ</small>	一日三秋 <small>一日を三年やふ待遠よりあり</small>	一陽来復 <small>十一月より陽氣の来るを云</small>	一業所感 <small>一の善事一の悪事業回とわつを云</small>	入鹿大臣 <small>人名</small>	市姫社 <small>神社</small>	一事兩様 <small>ことごとく通るべし</small>	一體分身 <small>ひたひた三つが礼拜して佛像をききむかひ</small>	一刀三禮	文章假字用格卷一
いしうちらのそや	いしこのろせ	いづりをうり	いひつあてあく	いそむくのそり	いりどのみやこ	いとたけのあそび	いちちあちさんあう	いちちやうらいやく	いちちのだいじん	いんごのだいじん	いちひめのやう	いちちあちさんあう	いっぴん	いっぴん	

七言 八言 九言

廿三

一國平均

いつくくへいじん

一河懸命

いつくくへけんめい

一生不犯

いつくくふふん

一雲不住

いつくくふちゆう

陰徳陽報

いんとくやうほう

辭應返事

いやをくのへんどう

陰虛火動

いんきょくはどう

伊弉諾尊

いざぬこのこと

率川都

いそがわのつと

輕兵

いさむらひの

伊弉册尊

いざのみこと

伊弉册尊

いざのみこと

九言

一蓮託生

いつれんたくせい

櫛本社

いぢりけのやう

一遍上人

いつへんじやうじん

一探手半

いつてぢうはん

む さや

つ ち

五重衣

いつつうむねのきぬ

一切衆生

いつつうじやうじやう

一唱三歎

いつしやうさんたん

出雲路幸神

いづせぢのちのう

池心都

いけこころのつと

十言

十一言

一犬吠形

いつけんけい

一疋の犬あやうきものを見て吠るは  
多くの犬との色ときとて同く吠を云

一刻價千金

いつくくあひせんぎん

東坡の詩云春宵一刻價千金と云  
さうの夜の景色のよれをり

櫛谷明神

いぢりけのみかみ

山城あり

文章假字用格卷一 (い)

廿四 黄葉園藏

呂部

一言

ろ 呂 侶 路 露 稜 魯 盧 樓 漏 爐 櫓 蘆

二言

蘆頭 草の莖の頭へ ろづ

論 ろん

籠 ろう

漏 ろう

弄 ろう

樓 ろう

陸 ろく

鷺鷥 鳥 ろぞ

路次 ろぢ

三言

函莽 ろむう

いのかかりとあやむをいふ

露蜂 ろむう 虫

路頭 ろとう

とやえ ちく ろむつ

ろ 二言 三言

廿四

ろむ

露屋 ろをく

櫛甲 ろくふ

露臺 ろたい

無論 ろむう

論 ろんず

綠蓉 ろうそ 葉

漏戸 ろうこ

螻蛄 石鼠のこぶ ろうこ 虫

螻蟻 ろうぎ 虫

籠司 ろうし

哢 ろうす

陸地 ろくち

蘆火 ろくま

六位 ろくお

六時 ろくと 展朝 日中 日没 初夜 中夜 後夜

録事 ろくと

囉齋 ろさい

を巧とおおむらひあり

路草 ろさう

羅皂 僧徒の衣服へ ろさう

四言

らち

路中 ろちゆう

爐中 ろちゆう

哢引 ろういん

籠餅 饅頭の一名へ ろうべい

陋巷 いやく ろうきやう

樓閣 ろうかく

萋蒿 草 ろうこう

漏脱 ろうだつ

文章假字用格卷一 ㊦

黄葉園藏



六位宿世 ろくおすこせ

八日 十四日 十五日  
廿三日 廿九日 晦日

六根草 ろくこんさう

ろくきさうさう

六齋日 ろくさいじち

ろくすおさう

鹿韭草 ろくきさうさう

澆水囊 ろくすおさう

七言

漏刻博士 ろうこくもろせ

六道辻 ろくだうのつと

六観音 ろくくわんおん

千手 十一面

正提

馬頭 如意輪

六軒屋川 ろくけんやがひ

六時勤 ろくどくのつとめ

六衛司 ろくゑいのつらさ

左右の近衛兵衛衛門をいふ

八言

六道街 ろくだうのちまご

六條坊門 ろくでうばうめん

六種震動 ろくしゅしんどう

震動 吼起 撃踊

十言

六根清淨 ろくこんじやうじやう

六根ハ 舌 身 眼 耳 鼻 意 心



波部

は 二言

廿七

一言

はハ波破敷半判絆巴播幡幡薄八方 音伐婆 濁音

孤齒羽葉場馬

二言

梅	配	肺	拜
むい	むい	むい	むい
賣	倍	廢	輩
むい	むい	むい	むい
小甲香	唄	杯	佩
むい	むい	むい	むい
祖母	媒	捺	敗
むい	むい	むい	むい

う つ ちへ

ふ

文章假字用格卷一 ②

二言 三言

黄葉園藏

望	茅	忘	帽	保	坊	寶	罪	母
むい	むう	むう	むう	むう	むう	むう	むち	むハ
炮	邦	包	傍	褒	暴	芳	愧	延
むう	むう	むう	むう	むう	むう	むう	むぢ	むハ
法	苞	庖	訪	袍	房	報	羽津	蠅
むふ	むう	むう	むう	むう	むう	むう	むづ	むハ
放	謗	防	抱	亡	方	巴豆	恥	ち
むう	むう	むう	むう	むう	むう	むづ	むち	

吳音通用おれハはふ  
漢音通用おれハはふ

驛 <small>驛路の馬</small>	羽床 <small>讃岐郷名</small>	隼人	三言	彌 <small>弓</small>	破壊	鮓 <small>魚</small>	美 <small>始てとる</small>	這 <small>人の</small>
配賦	賣女	配流		末	蝕	土師	榮 <small>出立とる</small>	跛 <small>虫</small>
拜舞	林田 <small>讃岐郷名</small>	斷		筈 <small>夫</small>	灰	櫨 <small>木</small>	映 <small>日</small>	蔓 <small>草</small>
拜披	梅雨	拜賀		蚊行 <small>蚊の行か</small>		婆度 <small>蠟の木を</small>	生 <small>草木</small>	

二言 三言

廿八

拜辭	貝母 <small>薬</small>	鼠麴 <small>草</small>	荊蒻 <small>草</small>	剗 <small>結布の耳</small>	端縫	羽交	畑枝	撥無
拜志	拜	脛巾 <small>服</small>	埴輪	攘 <small>屋真</small>	葉分	羽數	初穂	法嗣 <small>宗門の傳嗣</small>
廢壞	朱櫻 <small>木</small>	伯耆 <small>國名</small>	殉丸 <small>殉丸の人を</small>	鍼醫	破戒	膚	法度	葉月 <small>八月</small>
拜披	柞 <small>木</small>	箒 <small>器</small>	埴生	針魚 <small>魚</small>	葉替	波濤	外	八月

文章假字用格卷一

②

黄葉園藏

な ら うむ くお

迦	をづひ	弛	をづひ	塙	をか氏	虱	をから
鼻緒	をかを	花緒	をかを	花井	をか氏	解除	をらへ
<small>災を除き福を 求るをいふ</small>	袂	波	をらう	波浪	をらう	拂	をらひ
蠻衣	むんい	萬事	むんト	芳意	をらうい	<small>ころろざうを やうそり</small>	
報土	をうど	邦家	をうら	方家	をうら	寶祿	<small>在位のこと云</small>
彭祖	をうそ <small>人名</small>	暴雨	むらう	亡父	むらうふ	京葵	<small>七月</small>
芳志	をうし	榜尔	をうじ	房事	むらト	帽子	をうし
褒似	をうし <small>周幽王の后</small>	褒美	をうび	袍裳	をうも	坊主	をうん
羽音	をおと	羽織	をおり <small>服</small>	白衣	をくい	薄荷	をく <small>薬</small>

は 三言

廿九

ふく ぬい い

羽咋	をくひ	祝人	をふり	屠	をふる	這兒	をふこ <small>嬰兒</small>
八分字	をふち	萌	をえる <small>草木の生出る</small>	箸尾	をちを <small>氏</small>	彈	をちき <small>をちき</small>
創	をちめ	始	をちめ <small>とまる</small>	肇	をちめ	斷	をち <small>齒肉</small>
間	をひる <small>門の入り</small>	這出	をひで	芭蕉	をせ <small>を</small>	葉末	をすち
四言							
賣買	をいぐ	榛原	をい <small>遠江郡名</small>	廢亡	をいをう	廢忘	をいをう <small>志</small>
賣入	をいん	敗北	をいなく <small>北音イ常といふ云</small>	敗兵	をいへい	賣得	をいこく
拜讀	をいどく	賣女	をいぢよ	拜顔	をいげん	媒介	をいらい

文章假字用格卷一 ②

黄葉園藏

七

配膳	醅酒	拜吟	廢朝	陪膳	敗軍	拜禮	杯臺	廢學
せいぜん	せいさ	さいぎん	さいせう	さいぜん	さいぐん	さいらい	さいたい	さいがく
梅煎	配所	俳優	拜殿	沛公	培養	敗走	佩楯	拜郷
むいせん	さいきよ	さいい	さいでん	さいこう	むいやう	さいそう	さいて	さいかう
掃墨	廢所	拜受	梅天	拜謁	拜見	拜覽	脛楯	誹諧
さいずみ	さいきよ	さいあ	むいてん	さいえつ	さいけん	さいらん	さいて	さいご
貝母	齒醫者	陪臣	配劑	拜閱	配分	梅花	鷲	配當
むくろ	さいい	むいじん	さいざい	さいえつ	さいぶん	むいけ	さいこう	さいかう

ちと へに

墨子	蛆	金龜	蜂吹	堅齒	馬鹽	邛僂	恥	初苗
むくろ	むくのこ	きんこ	むちう	けんし	むたら	むご	むづし	むつめ
埴原	鳩吹	愧入	蜂をよせつけぬま	墓原	促織	未胤	發向	初午
むら	むとふ	むちいり	むかむをり	むら	むさ	むついん	むつり	むつら
半月	針入	八陣	針入	計	蟋蟀	八方	八講	八景
むひ	むりいれ	むちえ	むりいれ	むら	むさ	むつやう	むつこう	むつけい
蠅虎	八音	張綿	張綿	簾板	旗竿	慚	羽束師	八教
むと	むちいん	むり	むり	むさい	むご	むづし	むづし	むつけり

文章假字用格卷一

黄葉園藏

晩冬 <small>十月</small> むんとう	坂東 むんとう	腸 むらむら <small>臓</small>	鼻聲 むかこゑ	花妻 むかづま	鼻息 むかひき	拔萃 <small>むきすお ぬき出ーあつちる</small>	發才 むつさい	藏通別圓 頓漸秘不定
班女 <small>漢の班婕妤かこと</small> むんぢよ	伊豆相模武藏上総 下総安房上野下野 むんぢよ	腹帯 むらおび	花澤 むかざの <small>氏</small>	縻 むかづら <small>牛韁</small>	花生 むかひけ	羽川 むねがの <small>氏</small>	發明 むつめい	初聲 むのこゑ
伴侶 むんぢよ <small>ともぢり</small>	番頭 むんとう	萬邦 むんぱう <small>万国とりよ同ト</small>	鼻經 むかすぢ	牛縻 むかづら <small>牛馬と繫くなり</small>	韁 むかひ <small>馬具</small>	駢馬 むねうま	初汐 むつあや	末葉 むのえふ
萬幸 むんしやう	飯銅 むんどう <small>器</small>	萬方 むんぱう	匍匐 むらばひ	鼻搐 むかぬぢ	純草 むかろの	花色 むかいろ	發聲 むつせい	末弟 むつてい

は四言

三十一

又向 むむう	范蠡 むんらい <small>人名</small>	飯米 むんまい	飯米 むんまい	半疊 むんてふ	榛澤 むんざの <small>氏</small>	斑猫 むんめう <small>虫</small>	忘憂 むんいう <small>酒の異名</small>	茫々 むんぐ	苞飯 むんぱん <small>苞ハしらつと</small>
萬代 むんたい	伴僧 むんそう	晚景 むんけい	晚景 むんけい	端武者 むんぶしや	匪 むんび <small>器</small>	晚秋 むんしゆう <small>九月</small>	朋友 むんいう	胞轉張 むんぱう	魴鯉 むんりゆう <small>魚</small>
飯代 むんたい	晚來 むんらい	反景 むんけい <small>タ日</small>	反景 むんけい	斑瘡 むんさう <small>まじらのなまめり</small>	椽 むんざの <small>器</small>	萬歲 むんぜい	方逸 むんいつ	傍輩 むんばい	方便 むんべん
飯料 むんりゆう	繁華 むんくわ	繁榮 むんえい	繁榮 むんえい	坂西 むんさい <small>氏</small>	半弓 むんきゆう	蕃椒 むんせう	砂鍋 むんかく <small>器</small>	芳飯 むんぱん <small>ヤ</small>	褒貶 むんぱん <small>かちそり</small>

文章假字用格卷一 (は)

黄葉園藏

放免	芳札	暴風	飽滿	放埒	傍題	放下師	方角	寶幢
ほうめん <small>律の名目へ</small>	ほうさつ	ぼうふう	ほうまん <small>わんまん</small>	ほうらつ	ほうがい <small>題はそくをせし</small>	ほうりふ	ほうかく	ほうどう
檢非違使の廳の 下部をり	疱瘡	防風	芳惠	芳恩	寶塔	報答	方格	芳慮
	ぼうそう <small>病</small>	ぼうふう <small>藥</small>	ほうけい	ほうおん	ほうたふ	ほうたふ	ほうかく	ほうのよ
芳名	茅菜	亡魂	寶劍	放火	拵	放題	茅根	茅屋
ほうめい	ぼうさい <small>酒</small>	ぼうこん	ほうけん	ほうくわ	ぼうごて <small>家材</small>	ほうだい	ぼうこん <small>草</small>	ぼうをく
芳命	寶藏	寶殿	葬	亡君	亡靈	方立	半靴	芳翰
ほうめい	ほうざう	ほうてん	ぼう	ぼうくん	ぼうり	ほうたて	はんくつ <small>半分のくつ</small>	ほうらん

捷徑	白人	剝棗	博奕	馬口勞	博合	方寸	方圓	芳書
ていじやう	はくじん <small>遊女</small>	はくさう <small>八月</small>	はくあし	ばくらう	はくごふ <small>ひまにあまねこさり</small>	ほうすん	ほうえん	ほうしよ
早川	麥秋	白日	白米	博勞	莫大	炮	坊守	望日
はやがわ <small>氏</small>	むくしう <small>四月</small>	はくじつ	はくまい	はくらう <small>地名</small>	むくたい	ほう	ぼうし	ぼうじつ
早繩	早業	白挑	白紅	馬喰	麥浪	白晝	忙然	坊舎
はやなひ	はやごう	はくたう	はくこう <small>うしろのこまわり</small>	ばくじ <small>地名</small>	むくらう	はくじつ	ぼうぜん	ぼうや
蔓荊	早俗	薄酒	鵠	白鷗	<small>麥の葉の浪れ やうに見ゆらなり</small>	白翁	芒硝	礪砂
まきば <small>木</small>	はやぞう	はくしゆ	かく <small>鳥</small>	はくおう <small>鳥</small>		はくおう	ぼうせう	らうさ <small>藥</small>

文章假字用格卷一 ⑤

黄葉園蔵

れ た かり ち と へ せ い

拜領	俳徊	不憚	白拂	鳩杖	忍笑	羽買山	促織	驪馬
せいりやう	はいくわい	ふろうらん	しろはらひ <small>器</small>	ととのつゑ	にぢあはらふ <small>あはらふ</small>	はねかひ <small>大和地名</small>	せきおりのり <small>虫</small>	せせうま
誹諧師	拜上	柝原	馬鞭草	八丈	張皮籠	肌帯	旅籠馬	水腫
はいがいし	はいじやう	たもと	うまむち <small>草</small>	やちぢやう	ちりうのこ	むぎのおび	せせうま	たみやまひ
肺臓	媒妁	彗星	馬頭娘	八王子	馬螳草	馬刀瘡	幟	馬櫛神
はいのごう	まいあやく	すいせい	うまとうらう <small>蚕</small>	やちぢやう <small>地名</small>	むしうさう	うたがう <small>瘡の種類</small>	せせうし	まげきとん <small>鹿の神</small>

文章假字用格卷一 (は)

黄葉園藏

す せ ひ まきえこ ふけ

芭蕉布	唾壺	波旬	端近	髮際	祝園	祝子	濱褰
せせふ <small>布</small>	つひがき	なまゆい	ちぢぢ	かみぎわ	いわののり <small>山城地名</small>	いわりこ <small>祢宜のふ</small>	なまふと
苦刺	奪合	奪取	走井	帯添	昆虫	羽二重	濱木綿
くさ <small>矢の苦をさ</small>	たひあひ	むひと	ちぢりか	おきぞへ	むむ	ふぶ <small>絹</small>	なまゆ <small>草</small>
	長谷川	香匙	薑	萩原	法式	光結	濱木綿
	ながたに <small>氏</small>	かほ	かき	はぎのり <small>地名</small>	ほふし	ひかり <small>同</small>	なまゆ <small>草</small>
	芭蕉	灰吹	間人	半部	羽子板	法例	岨
せせふ <small>草</small>	あひぶき <small>銀</small>	あひぶき <small>仲人とおひ</small>	まにん <small>半分の部</small>	はんぶ <small>半分の部</small>	はねいた	ほふれい	なげやま

五言

(は) 四言 五言

三十三

判物	樊噲	大角	花宴	離岩	八宗	廨	辱	八平氏
もんぶりの	もんごい <small>人名</small>	もんらのえ <small>戦の具なり</small>	まかのえん	まかれい	まつあう	まつくろひ	まつりしむ	まつへいど
隠語	判形	般若寺	花細	離鳥	花返	初煙	廿日市	上総 千葉 大庭 梶原
もんぶもの	もんぎやう	もんごま <small>南都あり</small>	まかべ <small>花とちりてうまき</small>	まおとま	まかべ	まつけり	まつりりち	土肥 秩父 三浦 長尾
磐石	繁昌	番代	異母	花机	花鬘	八省	跋提河	恥敷
もんぶやく	もんぶやう	むんがひり	むらがり	まがつま	まかづら <small>花をうらうす</small>	まつあやう <small>禁中の官府の名</small>	まつだいが	まつりしき

番匠	方丈	虫出	膀胱	傍官	飽食	白扁豆	薄氷
もんぶやう <small>大工のこと</small>	もうちやう	むうちゆう <small>虫</small>	むうこ <small>臓</small>	むうごん	もうあう	もうへん <small>神</small>	もうひよう
斑枝花	庖丁	方量	判官	忘却	放生	白狀	林澤
もんべり <small>木綿の一種</small>	もうちやう	もうりやう	もうごん	もうきやう	もうあう	もうぢやう	まゆぢい
寶幢花	坊中	方外	坊官	暴虐	坊城	白張	葉鷄頭
もうごうけ	もうちやう	もうぐい	もうごん	もうぎやう	もうあう <small>氏</small>	もうぢやう	まげ <small>草</small>
						破軍星	文章假字用格卷一
						薄荷圓	は
						官人下賤の者衣服之	
						あうりしむ	
						文章假字用格卷一	
						黄葉園藏	



ふみさてこふ ひ せ す い

這子雛	こころびか	箱渡	こころり	馬蹄穀	むていこく <small>鴨</small>
挾板	こころり	瘦	こころり <small>病</small>	土師里	こころり <small>河内地名</small>
柱本	こころり <small>攝津地名</small>	彈弓	こころり	這出	こころり
這入口	こころり	這行	こころり	這纏	こころり
杜仲	こころり <small>木</small>	走回	こころり	馳違	こころり
馳歸	こころり	馳向	こころり	馳參	こころり
馳廻	こころり	苦違	こころり	配膳人	こころり
奪取勝	こころり	誹諧歌	こころり		

六言

五言 六言

三十五

ちへそ り わる つ かね

梟	こころり <small>鳥</small>	蠅虎	こころり <small>虫</small>	雪恥	こころり
八王日	こころり	八字眉	こころり	八代集	こころり
張魂	こころり <small>俗は志をうつりて云同</small>	衡	こころり	送春	こころり
爲半配	こころり <small>等分</small>	旅籠振	こころり	機織虫	こころり
叩頭虫	こころり	果狀	こころり	端商	こころり
徒足詣	こころり	發明者	こころり	八鳥	こころり
羽束山	こころり <small>河内地名</small>	黄檗魚	こころり <small>魚</small>	初元結	こころり
翁	こころり			縹帽子	こころり

文章假字用格卷一

黄葉園藏

十去 く う ひ ら

行試	麥門冬	放生津	保命酒	忘憂草	般舟院	半夏生	花窟
こしりごら	まうもんどう <small>草</small>	ほうしんしん <small>放生會とす津</small>	ほうめいしゆ	ぼうゆうそう <small>草</small>	ほんたのわん	はんげまき <small>節</small>	はなくさ <small>肥後の国入元日、鱒魚を禁裏へ献ずるといふ</small>
藕菑	白雪糕	方目紗	寶樹花	炮烙火矢	天台宗	反魂香	妊婦
くわいごら	しろせうこう	かためしや <small>目の四角から紗めく</small>	ほうじゅか	ほうらくか	てんたいしゆ	はんこんかう	にんぷ <small>紀伊の國熊野の有馬村より</small>
	早く	白頭翁	放生會	波稜草	萬歳樂	半造作	腸赤贅
	はやい	びやくとうおう <small>八月十五日八幡宮にてあり</small>	ほうしんかい	ははらむす	ばんざいらく	はんぞうさく	ちやうせき <small>腸赤の贅</small>

は 六言

三十六

かを る り む そ い

配所月	憚多	外舅	般恃愚痴	鉢付板	迎春	錘
はいしよのつき	はうた	がいけう	はんていごち	はつつけのいた <small>武器</small>	えいしゆ	つち
佩菜節	外祖母	外甥	八大地獄	蓮臺	切齒	權衡
はいさいせつ <small>九月九日へ</small>	がいそぼ	がいしゆ	はちだいちやく <small>佛説</small>	れんたい <small>佛説</small>	せつし	けんへい

七言

文章假字用格卷一 ②

黄葉園藏

く

つ か ら う く さ こ

は

三十七

羽束師杜 はづくしのり 地名 八功德水 はつとくどくすい 佛説

花夕榮 はなゆげ 烟火線香 はなびせんこう

花摺衣 はなずりぎ 斷腸 はらばら

腹帶地藏 はらびざう 炮碌頭巾 はらばらづきん

庖丁人 はうちゆうじん 報春鳥 はうしゆんとう

這體 はうてい 白馬節會 はうばのせらい会 正月七日の公事あり

白丁香 はくちゆうかう 白頂花 はくちゆうか 草

博學多才 はくがくたさい 白山通 はくさんとう 白山の街道をへり

深窓處女 はくしゆうむすめ 挾將棊 はくしやうぎ

ひ 志

土師天神 どしのてんじん 匍纏 はうまき

八言

摧肺肝 さいはいかん 外祖父 そとぢい

八大龍王 はつぱつりゆうおう 碓忘却 すいしやく

八算見一 はつさんけんいつ 八荒同軌 はつかうどうき

半死半生 はんしはんせい 鎮花祭 ちんげさい 神事

踏薄氷 ふみうすひ 傍若無人 はうじやくぶじん

文章假字用格卷一 ⑤

黄葉園藏

く ら む か つた ら 志 い

八荒と八外国といふ同軌と八同ト風俗ありといふ

ら う むね つち

八言

八幡大菩薩

やちまんだいがさ

八相成道

やちまうちがうだう

拔鉢明神

はつものみやうじん

比翼鳥

ひよくからせうり

万乘主

まんじゆうのあは

寶祚万歳

まんじゆうのせい

十一言

斷腸解頤

だんじゆうかいぎ

仁部

一言

仁

二

爾你迺二仁而耳珥貳尼柔

音

荷煮丹訓

二言

庭

よい

場

よい

丹羽

よい

鳩

よか鳥

苞苴

よへ

つむぎとよとよ  
まくとよとよ

贄

よへ

日和

よひ海上

乳

よら

柔

よら

壬生

よぶ

日和

よひ安藝遠江安房  
郡名

丹生

よふ大和  
郡名

入

よふ漢音

煮

よえ

蟬

よひ安藝遠江安房  
郡名

ひ 競 ふうわ へか ち

文章假字用格卷一

影のひは照されて

絳電

よひ

新

よひ

三十九 黄葉園藏

む むね よかわ へ ち

擔 <small>肩よりあし</small>	新田	二階	香	庭瀨 <small>地名</small>	庭田 <small>氏</small>	遽然	二言
よひ	またん <small>氏</small>	よりい	よりい	よせい <small>氏</small>	よりい	よいり	
荷	二嶋 <small>壹岐對馬</small>	膠	勻	薰	甘遂 <small>草</small>	俄	二言 三言
よひ	またう	よりは	よりい	よりい	よいそ	よいり	
妊 <small>孕めり</small>	仁木	如意	常 <small>常きうわくと云々同ト</small>	馥	燎	頓	
よん	よんき <small>氏</small>	よよい	艶 <small>艶わりのもつり</small>	よふ	よび	より	
人夫	無二	女	二王	馨	卒爾 <small>庭火之大方い神樂の</small>	卒爾	三十九
まんぶ	よふ	よ	よ	よ	よ	よ	

せ ひ ときさおて えこ ふね う

新見 <small>初めて見る</small>	西尾	二歳	熱湯	入府	荷負	柔和	
よひ	よ	よさい	よえ	よふ	よあふ	よう	
似繪	鈍滌	痊 <small>堯舜</small>	二帝	入寺	煮	乳蛾	
よせ	よむ	よき <small>瘡</small>	よてい	よや	よや	よが	
今 <small>今より似がや繪の</small>	新葉	躑	二條	尾公	入津	乳味	
よ	よ	よ	よ	よ	よ	よ	
	新田	躑	似合	熱	入部	煮梅	
	よ	よ	よ	よ	よ	よ	

四言

文章假字用格卷一 ⑫

黄葉園藏

ひ まきこ ふくれの う

文章假字用格卷一 ⑫	新墾 <small>よひり</small>	新糸 <small>よひい</small>	西陣 <small>よひじん</small> <small>京都大宮の西</small>	濁井 <small>よひい</small>	入銀 <small>よひぎん</small>	入道 <small>よひだう</small>	肉豆蔻 <small>よひぢく</small> <small>薬</small>	柔輦 <small>よひん</small>	人參 <small>よひん</small> <small>薬</small>
	新綿 <small>よひわた</small>	鈍色 <small>よひいろ</small>	西郊 <small>よひこう</small> <small>山城訓郡あり</small>	濁江 <small>よひえ</small>	入滅 <small>よひめつ</small>	新川 <small>よひがわ</small> <small>越中郡名</small>	釋迦牟尼佛 <small>よひぢまんにぶつ</small> <small>氏</small>	二舞 <small>よひのまひ</small>	胡蘿蔔 <small>よひくわん</small> <small>薬</small>
	新嘗 <small>よひあめ</small>	新治 <small>よひち</small> <small>常陸郡名</small>	西岡 <small>よひおか</small>	賑 <small>よひにぎ</small> <small>賑者の衣の色ニ 嵐色の深きといふ</small>	入麵 <small>よひめん</small> <small>食</small>	入學 <small>よひがく</small>	入峯 <small>よひかみ</small> <small>山嶽をいふ</small>	乳香 <small>よひかう</small> <small>薬</small>	乳癰 <small>よひよう</small> <small>病</small>
黄葉園藏									

むか つ よかや と

人界 <small>よひまへ</small>	忍冬 <small>よひふゆ</small> <small>草</small>	茵芋 <small>よひつゆ</small> <small>木</small>	不似付 <small>よひにふ</small>	女御 <small>よひみ</small>	女人 <small>よひにん</small>	地膚 <small>よひく</small> <small>草</small>	郁李 <small>よひり</small> <small>木</small>	雞 <small>よひどり</small> <small>鳥</small>
妊帯 <small>よひたい</small>	仁和寺 <small>よひにんじ</small>	日課 <small>よひか</small>	入唐 <small>よひたう</small>	如法 <small>よひりつ</small>	鳩照 <small>よひてる</small> <small>近江の湖あり</small>	庭乘 <small>よひのり</small>	陸英 <small>よひえい</small> <small>木</small>	陸英 <small>よひえい</small> <small>木</small>
人愛 <small>よひあい</small>	入西 <small>よひさい</small> <small>山城葛野郡あり 御室神所といふ</small>	日蝕 <small>よひそく</small>	女帝 <small>よひてい</small>	鵲鷓 <small>よひつ</small> <small>鳥</small>	庭立 <small>よひたち</small>	庭草 <small>よひくさ</small>	地膽 <small>よひたん</small> <small>虫</small>	地膽 <small>よひたん</small> <small>虫</small>
人相 <small>よひさう</small>	人皇 <small>よひみかど</small>	蜷川 <small>よひまがわ</small> <small>氏</small>	入宋 <small>よひそう</small>	日牌 <small>よひひら</small>	女王 <small>よひみかど</small>	膽水 <small>よひがみ</small>		

⑫ 三言 四言

四十

ひまあこやふ

むか

文章假字用格卷一 ⑫	蘭茹 <small>よひまぐさ 草</small>	新叅 <small>よひまわり</small>	混渚 <small>よごりづ</small>	若僧 <small>よやくそう</small>	人情 <small>よんぢやう</small>	任槐 <small>よんかゝい</small>	人頭幢 <small>よんづどう</small>	人長 <small>よんぢやう</small>	似 <small>よつり</small>
		世ふまんどんりの あり	似合敷 <small>よあひき</small>	若童 <small>よやくどう</small>	入定 <small>よんぢやう</small>	大臣に任せらるゝ よ	世よみる目く鼻と ころ	神樂の舞人陪従の 長より	擔桶 <small>よひとけ</small>
	新枕 <small>よひまくら</small>	煮鹽鮎 <small>よやくあめ</small>	濁水 <small>よごりみづ</small>	入城 <small>よんぢやう</small>	人形 <small>よんぎやう</small>	任官 <small>よんくわん</small>	仁王會 <small>よんおうかい</small>	輓擔 <small>よんぢやう</small>	

黄葉園藏

つよかや

こ

女院 <small>みづうわん 国母を申す</small>	苦笑 <small>くごころい</small>	鳴海 <small>あわのうみ 近江 湖水</small>	篇蓄 <small>よひやくぞ 草</small>	庭作 <small>よひつくり</small>	驟雨 <small>よごりあめ</small>	暴風 <small>よごりうぜ</small>	五言	每年初詣と神よ奉らせ ありあり
女性 <small>およめやう</small>	女別當 <small>およべどう 本宮の官女</small>	二階堂 <small>ふたかいどう 氏</small>	朱櫻 <small>あけぼの 木</small>	雞 <small>よどり 鳥</small>	潦 <small>よらふ 水</small>	曠 <small>よらふ 地</small>	四言 五言	⑫
日中 <small>ひらちゆう</small>	女房 <small>よぼう</small>	冷笑 <small>れいこう</small>	含桃 <small>くわんとう 木</small>	庭面 <small>ていめん</small>	疾雨 <small>しやくう 庭よたれしる雨水</small>	疾雨 <small>しやくう</small>	四十一	

ひあくむ よら かころ

六言

二六躍	よろくぞう	鶺鴒	はらふぞう <small>鳥</small>	庭訓	よしのぞう
<small>鹿島わぐろのこ</small>		<small>鳴とつふ鳥の巢ハ波の上ニ作ヲおけハシ</small>			
鳴浮巢	よりのきみ	日行事	よろぎぞう	香囊	よしのぞう
日夜朝暮	よらやまが	女御代	よらぎぞう	女春宮	よらぎぞう
女官	よらぎぞう	<small>宮女の下臘の藏人マ</small>		忍冬酒	よらぎぞう
女藏人	よらぎぞう	肉菘蓉	<small>薬草</small>	西主	よらぎぞう
人間界	よらぎぞう	新磯濱		<small>伊豆賀茂郡瀧の温泉の地あり</small>	
新玉章	よらぎぞう				

五言六言

まう む っ よかろ

七言

二六時中	よろくぞう	二河白道	よらぎぞう
如意寶珠	よらぎぞう	女護嶋	よらぎぞう
<small>最上の珠</small>		<small>武藏桶樹郡 矢ロマ</small>	
新田社	よらぎぞう	人別帳	よらぎぞう
日光山	よらぎぞう	人中白	よらぎぞう
<small>下野河内郡あり</small>		柔和忍辱	よらぎぞう
人中黄	よらぎぞう	二所宗廟	よらぎぞう
忍凌草	よらぎぞう	二十八日	よらぎぞう
西河瀧	よらぎぞう		
<small>大和吉野郡あり</small>			
二上嶽	よらぎぞう		
<small>大和葛下郡あり</small>			

文章假字用格卷一

黄葉園藏



近世朔望に準じて是日  
礼を設く

錦小路 京都の地名  
ふきのこころ

八言

仁徳天皇 人皇第十七代  
ふんくそんこう

丹生明神 大和古野郡あり  
ふきのこころ

二十八宿 星宿  
ふぶらりーゆ

九言

二佛中間 諺あり  
ふぶらのちめふげん

二十一代集 ふぶらのちめふげん

世に勅撰の歌書あり八代集よ  
十三代集と合せりて

十言 十四言

むよ

ふふ

ふむ

如意輪観音 ふよいんくそんおん 菩薩

人間萬事塞翁馬 ふんげんてんどうふをうがうま

古き詩の句より人れ一生涯で塞翁が故事よ  
かゝていん

う む つそれれ かい さい 去ゆふく

文章假字用格卷一 (注)	梵字	本意	細井	菩提	堀尾	焙爐	三言	反故
	わん	わん	わそ	わご	わり	わいろ		わご
	布衣	本地	穂束	母堂	行器	穂北		法
	わい	わん	わづ	わご	わう	わ		漢音
	梶	品治	末枝	暮齡	步行	鰯		吠
	わう	わん	わつ	わき	わう	わづ		狗声
奉加	本寺	穂積	牡蠣	行器	和名抄	哺時		
わう	わん	わづ	わい	わう	和名抄より魚鰯と註せり りて腹の美なり	申時		

黄葉園藏

うら ねい

保部		一言		保		二言	
衰	奉	鳳	螺	本意	保	褒	木
わう	わう	わう	わら	わい	保	褒	木
朋	捧	封	棒	布衣	保	褒	木
わう	わう	わう	わう	わい	保	褒	木
邦	崩	峯	鵬	頰	保	褒	木
わう	わう	わう	わう	わい	保	褒	木
謀	豐	逢	蓬	顚	保	褒	木
わう	わう	わう	わう	わい	保	褒	木

保部 二言

四十四

と たか と けい い

文章假字用格卷一 (一)	脛緒 <small>わきお</small>	細路地 <small>わきぢ</small>	神馬藻 <small>かまも</small>	朗 <small>わう</small>	煩熱 <small>わんねつ</small>	髯 <small>わん</small>	畫眉鳥 <small>わびどり<small>鳥</small></small>	頰骨 <small>わがほ<small>支棘</small></small>	倍堂 <small>わいどう</small>
	蒂落 <small>わきおち</small>	小腸 <small>せうぢょう<small>職</small></small>	穗俵 <small>わいひょう</small>	菩提樹 <small>ぼだいじゆ<small>木</small></small>	程經 <small>ちやうけい</small>	綺 <small>き</small>	忍笑 <small>にんせう</small>	酸漿 <small>さんじやう<small>草</small></small>	無本意 <small>むほんい</small>
	燼 <small>せん<small>火屑の美</small></small>	細川 <small>わきがわ<small>氏</small></small>	楯杭 <small>たてかき</small>	菩提寺 <small>ぼだいじ</small>	百部 <small>ひやくぶ<small>草</small></small>	浸 <small>しん</small>	微笑 <small>びせう</small>	頰當 <small>わがあた<small>武器</small></small>	穗出 <small>わいしゆ</small>
	細水 <small>わきみづ</small>	胞 <small>わい</small>	絡 <small>わく</small>	熠燿 <small>えきごう</small>	殆 <small>たい</small>	液 <small>えき</small>	鬚 <small>しゆ</small>	厚朴 <small>こうぼく<small>木</small></small>	窳 <small>く<small>ロー</small></small>

黄葉園藏

す ぶて えこ ふやの

四言	糲 <small>わい</small>	星井 <small>せいせい<small>氏</small></small>	嗥 <small>わう</small>	法語 <small>ほふご</small>	焰 <small>えん</small>	法師 <small>ほふし</small>	彭祖 <small>ほうそ<small>人名</small></small>
	餼 <small>けい</small>	欲 <small>よく</small>	布袋 <small>ぶたい</small>	法會 <small>ほふえ</small>	保養 <small>ほやう</small>	鷄母 <small>けいぼ<small>鶏</small></small>	反故 <small>はんこ</small>
	穗末 <small>わいすえ</small>	貪 <small>こん</small>	補劑 <small>ほくざい</small>	母公 <small>ぼこう</small>	暮陽 <small>ぼやう</small>	封 <small>ふう</small>	蜂起 <small>ほうき</small>
		脯 <small>ぼ<small>肉</small></small>	暮秋 <small>ぼくしゆ<small>九月</small></small>	吼 <small>こう</small>	屠 <small>と</small>	煌 <small>かう</small>	法事 <small>ほふじ</small>

ほ 三言

四十五

謀判 <small>まうはん</small>	鳳曆 <small>わうれき</small>	蓬萊 <small>わうらい</small>	謀計 <small>まうけい</small>	北條 <small>きたじょう</small>	保養 <small>ほうやう</small>	北邨 <small>きたむら</small> <small>唐土の地名</small>	北堂 <small>きただう</small> <small>母のこゝろ</small>	法便 <small>はうべん</small>
鬚髯 <small>しゆぜん</small> <small>鬚のこゝろ</small>	鳳輦 <small>わうへん</small> <small>天子の駕</small>	鳳闕 <small>わうけつ</small>	南瓜 <small>なうか</small>	崩御 <small>むさうぎ</small> <small>天子の死</small>	捧物 <small>ほうぶつ</small>	牧童 <small>ぼくどう</small>	老少 <small>らうせう</small>	法流 <small>はうりゆう</small>
鳳凰 <small>わうほう</small>	豐年 <small>わうねん</small>	天子の宮闕 <small>てんしのきゆうけつ</small>	奉公 <small>ほうこう</small>	奉書 <small>ほうしよ</small>	鳳詔 <small>わうせう</small> <small>天子の詔</small>	穆王 <small>ぼくわう</small> <small>人名</small>	卜筮 <small>はくせい</small>	法輪 <small>はうりん</small>
夢澤 <small>むさく</small> <small>唐の地名</small>	奉納 <small>ほうなう</small>	封建 <small>ほうけん</small>	縫掖 <small>ほうえき</small>	謀書 <small>まうしよ</small>	鬚髻 <small>しゆけい</small> <small>鬚のこゝろ</small>	木刀 <small>もくとう</small>	法印 <small>はういん</small> <small>官</small>	法皇 <small>はうわう</small>

文章假字用格卷一 (五)

黄葉園藏

奔星 <small>ほんせい</small> <small>流星と同じ</small>	犯罪 <small>はんざい</small>	梵音 <small>ぼんおん</small>	凡僧 <small>ぼんそう</small>	本體 <small>ぼんたい</small>	本陣 <small>ぼんぢん</small>	本方 <small>ほんほう</small>	法華寺 <small>はうけつじ</small>	發頭 <small>はつとう</small>
朋友 <small>ともとも</small>	本妻 <small>ほんさい</small>	本望 <small>ぼんぼう</small>	梵僧 <small>ぼんそう</small>	本道 <small>ぼんだう</small>	梵王 <small>ぼんわう</small>	本法 <small>ほんぽう</small>	骨折 <small>こつこつ</small>	渤海 <small>はくはい</small>
俸祿 <small>ほうりく</small> <small>知行あり</small>	梵宮 <small>ぼんきゆう</small> <small>寺のこゝろ</small>	本朝 <small>ほんてう</small>	煩惱 <small>ぼんぼう</small>	本堂 <small>ぼんだう</small>	犯戒 <small>はんけい</small>	梵唄 <small>ぼんばい</small> <small>佛經の聲</small>	螺 <small>ら</small>	法體 <small>はうたい</small>
胞轉張 <small>ほうてんぢやう</small>	本誓 <small>ほんせい</small>	本才 <small>ほんさい</small>	本來 <small>ほんらい</small>	奔走 <small>ほんそう</small>	本郷 <small>ほんきやう</small>	本邦 <small>ほんぱう</small> <small>吾國のこゝろ</small>	梭尾螺 <small>すゐら</small>	法橋 <small>はうけう</small> <small>官</small>

(五) 四言

四十六

た り と け 去

剔杖	筵	臉蒙	五言	星川	法文	法樂	法界
わうらどを	わいづる	わうむり		わうら <sup>氏</sup>	わうん	わうら	わうら
豚	程遠	頰冠	四言	暮商 <sup>九月</sup>	乾飯	法恩	法用
豚鼻を以て土をわく	わいづる	わうこう	五言	わいづる	わいひ	わいん	わいよう
菩提樹	佛胴	厚朴		星合	乾魚	法眼	法談
わいづる <sup>木</sup>	わいづる <sup>具足</sup>	わうく <sup>木</sup>		わいひ	わいひ	わいびん <sup>官</sup>	わいたん
					脯	法服	法然
					わいひ <sup>乾魚</sup>	わいふ	わいなん <sup>人名</sup>

四言 五言

四十七

や く う むね つ そ

菩提草	發病	本能寺	本能寺	本國寺	本城	鳳味	封疆	北俱盧洲	文章假字用格卷一
わいづる	わいびやう	わいのう <sup>京師あり</sup>	わいのう <sup>京師あり</sup>	わんこく <sup>京師あり</sup>	わんじやう	わうら <sup>鳳凰の嘴あり</sup>	わうきやう <sup>知行下</sup>	わいりやう	文章假字用格卷一
車渠	骨痛	本願	本願	凡情	本莊	謀畧	豐凶	北極	
わいせ <sup>貝</sup>	わいづる	わんごん	わんごん	わんじやう	わんじやう <sup>氏</sup>	わうりやう	わうきやう	わいきやう	
細男	本領	本懷	本懷	本性	奉勅	膀胱	鳳城	穗屋香爐	黃葉園藏
わいせ <sup>木</sup>	わんじやう	わんごん	わんごん	わんじやう	わうら <sup>京</sup>	わうら <sup>膀胱</sup>	わうじやう <sup>京</sup>	わいりやう	黃葉園藏
	法華堂								
	わいけだう								

文章假字用格卷一

黃葉園藏

五言 六言

四十八

法華經 わがきん

法隆寺 わがらうじ

法樂會 わがらくゑ

法氣付 わがけづ

法名 わがな

法林寺 わがりんじ

縱 わがひ

擅 わがひ

恣 わがひ

星月夜 わがづよ

六言

堀兼井 わがらぬの

細谷川 わがたに

骨折損 わがやうそん

細冠者 わがくわん

法華宗 わがけ

骨折損 わがやうそん

桑魚 わがぬ

本願寺 わがんぐん

保童圓 わがどうえん

本勝寺 わがほんしょうじ

培摧 わがどうえん

保童圓 わがどうえん

鳳凰草 わがほうおうそう

蓬萊山 わがらうざん

蛞蝓 わがうすじ

鳳仙花 わがせんが

北陸道 わがろくたう

北叟笑 わがそくせう

芋屑頭巾 わがとづきん

北叟頭巾 わがとづきん

星唱 わがせい

星位 わがせい

干大根 わがたいこん

乾蘿蔔 わがたいこん

七言

佛別 わがぶつ

發露啼泣 わがろくてい

豐年雪 わがねんのゆき

法華三昧 わがけさんまい

煩惱菩提 わがぼんぷだい

浮出 わがうで

豐年雪 わがねんのゆき

文章假字用格卷一

黄葉園藏

元日天子星の名とあはせ

二月十五日

豊年の瑞

⑬

⑥六七八言

四十九

蓬萊飾

わうらいきざり

法界悋氣

わふうのりんき

戴星

わいせうきざく

落星馬

わいせうのうま

星合空

わいあひのそら

八言

本飯再進

ほんめんさいじん  
本膳再進

本領安堵

ほんりやうあんどう

鬼灯挑燈

わづきでうらん

骨組丈夫

わねぐまぢやうぶ

本明寺叅

ほんめいじさん  
二月初五日

北辰尊星

わくしんそんせい

九言

北面侍

わめんのおむひ

法勝寺大會

わふしやうたいかい

梵天帝釋

ぼんてんていしやく

十言 十一言

穗掠明神

わのぐらゝのこみちうどん

大和

玄蕃寮

わうしやうらびくのつらさ

官名

邊部

一言

へへ 反返閉敵幣敵篇遍霸陛珮背沛杯釐鞞便辨

別倍陪便以下五字濁音 舳舟經歷訓

二言

幣 へい 幣帛ありててが

閉 へい 幣帛ありててが

俵 へう 鬼神の居るところと

砲頭釘 べう 標 へう 標 へう

屏 へい 今の垣根のことあり

米 べい 堀とくハ倍字あり

鏢 べう 天子奉る表と云

鏢 べう 漢音と云

捉緒 へを 鷹

表 へう

豹 へう

うを い

き

い

つた

ひ

う

漂 へう

飄 へう

瓢 へう

苗 へう

日置 へき

三言

平地 へいら

平話 へいご

陛下 へいり

平禮 へいれ

折高帽子れ類とて平侍の着るりのゆへに名づく

閉戸 へいこ

平沙 へいさ 帝王と云 水涯の沙地と云

兵器 へいき

平愈 へいゆ

平氏 へいし

瓶子 へいど 徳利

別當 べたう

竈 へつい

折 へづ

別井 べつゐ 氏

別府 べつふ 地名

戸次 べつき 氏

別事 べつじ

邊夷 へんい

藟豆 へんづ 穀

逸見 へんみ 氏

篇次 へんじ

表裏 へうり

瘰癧 へんそ 病

文章假字用格卷一

黄葉園藏



ぎ

四言

表具	へうぐ	表示	へうど	裱紙	へうし書	標紙	へうし書
豹尾	へうび	<small>曆の八将神のツあり</small>		平群	へぐり氏	僻事	へきど
閉籠	へいろ	幣帛	へいそ	平人	へいじん	平陸	へいりく
吠瑠璃	べいろり	<small>梵語あり青色宝と翻せり即瑠璃あり</small>		弊屋	へいぶ	兵革	へいこく
<small>革の甲冑あり軍旅に用ひ</small>		餅餠	べいたん	<small>古代の菓子の名あり</small>		聘禮	へいらい
平僧	へいそう	平臥	へいご	屏幔	へいまん	<small>俗より斗帳幕のたぐひ</small>	
平絹	へいけん	病月	へいげつ <small>三月</small>	屏風	へいぶ	閉口	へいこう

い

つそ

むか

米穀	べいこく	炳焉	へいげん	平安	へいあん	平均	へいじん
屏居	へいそよ <small>隱居して云同ト</small>	平生	へいせい	平日	へいじつ	兵刃	へいじん
閉門	へいもん	別納	べつな	炳然	へいぜん <small>あざもろ</small>	嬖妾	へいせふ
嬖妾	へいせふ <small>へいすふ</small>	別納	べつな	臍帶	へいそ	鼈甲	べつこ
諂	へつらん	諛	へつらん	譏	へつらん	別院	べつゐん
別火	べつさ	別業	べつごふ	<small>退休の宅地今より下屋敷の類あり</small>		別條	べつじょう
別才	べつさい	糯米土	へいどら	返報	へんぱう	偏旁	へんぱう <small>文字</small>
反閉	へんむい	<small>天子出御の時陰陽寮は行ふところあり</small>		冕旒	へんりゅう <small>冠</small>	變改	へんがひ
返答	へんたう	篇題	へんたい	辨當	べんたう	行厨	へんじう

文章假字用格卷一

黄葉園藏

廟所	瓢葦	漂流	ひろく	廟拜	邊要	變易	卞和	返禮
べしよ	へんたん <small>菜</small>	へうりゅう	ひろく	べうまい	へんえう	へんえき	へんご <small>人名</small>	へんれい
俵物	裱店	廟堂	渺々	表白	陸奥 出羽 佐渡 隱岐 壹岐 對馬 邊要	返牒	辨慶	辨佞
へうぶつ	へうてん	べうだう	べうく	へうはく	返書	へんてふ	べんけい <small>人名</small>	べんねい
舳松	裝潢匠	漂倒	漂泊	遍照	返濟	辨口	返納	變化
へのもろ	へうざや	へうたう	へうはく	へんせう	へんさい	べんこう	へんあふ	へんご
和泉大高郡熱瓜の産所	苗裔	表德	表德	邊陸	辨濟	偏執	變化	變化
	べうえい	へうとく	べうとく	へんすわ	べんさい	へんしつ	へんご	へんご

四言

五十二

碧友	碧桃	辟易	閉帳	鬼蟹	平脈	別行	返上	豹皮
へいゆう	へいたう	へいやく	へいしやう	へいけがま <small>虫</small>	へいこやく	べつぎやう	へんじやう	へうのうは
平胃散	平家蟹	陪從	邊境	返償	豹脚	返上	返償	豹脚
へいおさん <small>藥</small>	へいけがま <small>同</small>	へいおゆう	へんさう	へんじやう	へうきや <small>蚊</small>	へんじやう	へんじやう	へうきや <small>蚊</small>
平懷	墻界	庸醫	返狀	漂著	蛇莓	平懷	漂著	蛇莓
へいこい	へいざうい	へたいう	へんじやう	へうしやく	へびいらこ <small>神</small>	へいこい	へうしやく	へびいらこ <small>神</small>

五言

文章假字用格卷一

黄葉園藏

弄蛇乞兒へびつうい

六言

兵者詭道へいぎだう

兵家樞要の語孫子、出づ

米囊花べいぶくろがは

臍土器へそどらけ

無別條むべつじょう

便毒瘡べんどくそう

表徳号へうとくごう

七言

屏中門へいぢゆうもん

閣門かくもん

平安城へいわんぢやう

山城の国愛宕郡今の京都之

別時念佛べつじねんぶつ

いむきむ

八言

平家物語へいけりのものがたり

十二巻あり信濃前司行長が作り

辨才天女べんざいてんによ

變成男子へんぢやうおんな

龍女正覚の美法華經に見えり

碧原督郵へきげんとくゆう

十二言

片言折獄へんげんしやく

凡訟とてくわりの必兩辞をもちて是非をさぐることを一言を信じて獄とてむらりの吏の短才あり

文章假字用格卷一 八言十二言

登部

一言

と

登 刀斗等苔覩鄧騰滕藤得德渡妬屠 清音 土

杜圖度

清濁 二音

杼奴弩怒特廼耐 濁音

二言

遠

とや

百

と

閉

と

綴

と

十

と

銅

と

東

と

等

と

筒

と

棟

と

凍

と

同

と

洞

と

桐

と

銅

と

動

と

らを りを

冬

と

統

と

豆

と

逗

と

童

と

董

と

通

と

痛

と

桶

と

頭

と

斗

と

登

と

燈

と

藤

と

騰

と

懂

と

鼈

と

土居

と

土堰

と

戸母

と

ひ 去お

土肥

と

問

と

稱

と

樋

と

三言

やえい

砥

と

途方

と

外方

と

通

と

文章假字用格卷一

りらと せもひき

文章假字用格卷一	取置	戸帳	遙點	遠射	四言	燈	土葬	土公
	取分	斗帳	齊	遠妻 <small>遠方より妻と云</small>		鞆繪	常盤	杜公
	取替	途中	整	遠嶋		巴	問屋	徒弟
	鳥飼	取出	調	遠山		渡世	飛魚	土藏
黄葉園藏	とらおく	とらあう	とらよそ	とらあが	ともひ	とらさう	とらこう	
	とらまけ	とらあう	とらひ	とらさい	ともゑ	とらさい	とらこ	
	とらう	とらあう	とらひ	とらま	ともゑ	とらひや	とらてい	
	とらひ	とらあう	とらひ	とらま	とせい	とらひや	とらごう	

こけの うらおたよ かをり

得意 <small>得意の支云云</small>	東寺 <small>山城あり</small>	豆腐 <small>食</small>	同意	捕	土用	篩	神門	亨 <small>通あり</small>
時計	東司	礬水 <small>繪絹こひく</small>	童戲	東夷 <small>四夷のつあり</small>	渡唐 <small>唐へ行くと</small>	左右	鳥居	融
鳥鳴鐘	桐油	同家	燈籠	徒黨	渡海	撓	遠矢	遠
詛 <small>のうらふこと</small>	宿直	童子 <small>公卿出陣と云</small>	動座	豆雨 <small>八月</small>	唱	都甲	遠	
とけい	とらひ	とらひ	とらひ	とらひ	とらひ	とらひ	とらひ	とらひ
とけい	とらひ	とらひ	とらひ	とらひ	とらひ	とらひ	とらひ	とらひ
とらひ	とらひ	とらひ	とらひ	とらひ	とらひ	とらひ	とらひ	とらひ
とらひ	とらひ	とらひ	とらひ	とらひ	とらひ	とらひ	とらひ	とらひ

二言 三言

五十五

燈械	逗雷	頭人	東方	屯食	頓宮	土燈會	黏竿	取添
とうげ	とうりう	とうじん	とうほう	どんじき	とんぐう	とたうゑ	とろこせ	とろそ
鼈	同類	同朋	等輩	下膳よあつる飯の名あり	鈍才	刀祿川	十返	副持
とろがめ	とろるゑ	とろづ	とろふ		とんさい	とぬがひ	とくり	とろそ
同道	東海	頭取	童坊	同邑	東京	捕	松まつり百年こいび花さくとりひつとろ	執成
とろだう	とろうみ	とろとり	とろぼう	とろのふ	とんきん	とろす		とろせ
燈臺	同郷	藪々	燈棚	燈籠	鈍色	虎卷尾	梅尾	取合
とろだい	とろがう	とろりく	とろぼう	とろろう	とんじき	とらせ	とろのせ	とろあひ

三言 四言

五十六

毒忌	童蒙	同罪	東條	春宮	銅卯	藤堂
どくい	どうもう	どうざい	とうじょう	とろぐう	どうぼ	とうだう
德行	洞蕭	同苗	洞庭	鬪鷄	東院	東堂
とくこう	とろせう	とろめう	とろてい	とろけい	とろいん	とろだう
徳川	斗為巾	同姓	東西	東風	同音	同年
とくがわ	とろわきん	とろせい	とろざい	とろふう	とろおん	とろねん
獨行	東漸	燈心	幢相	動搖	冬瓜	童男
どくこう	とろせん	とろしん	とろさう	とろごう	とろごぼ	とろおん

文章假字用格卷一

黄葉園藏

漸ハ進む事ノ端ヲ見んとす云

書一用ノ同ト心アリ

鬪鷄 三月三日云

東宮ハ皇太子ノ御身ノ上ニ書ケル時ハ東宮ト云フ也 春宮ハ坊ニ奉仕ノ傳大夫亮進等ノ役入官名也

鉄砲具

和尚

菜

僧衣

華共十二弦より十三弦の名あり

むらよを                      りらとへ                      かし

文章假字用格卷一 (2)	囚人 とらへびと	十圍子 ととじんご	鬪鶏 三月三日 とらあせ	無屑 とらえあ	取績 とらつづく	取渡 とらまは	滞 とらこわり	高祖父母 とらちちあや	無十方 とらうほう
	虎皮 とらのかわ	執障 とらさへる	不取敢 とらあへび	取直 とらあは	取違 とらたが	取違 とらたが	閉籠 とらこもり	遠値嘉 とらちちら 地名	通熊 とらくま 遠江 地名
	緞帳 どんちやう	土用乾 とちようかん	鳥曹司 とらさうじ 禁中異の隅	取廻 とらまわ	取遣 とらつた	取遣 とらつた	取拂 とらとら	十重廿重 とらじゅうにじゅうに	遠祖 とらちち 先祖と同ト

黄葉園藏

も    ひ    ま                      き    り

五言	纜 とらづま	醪醪 酒の名 とらびら	年緒 とらゆ	土牛兒 綱牛あり とらうし	長 とら	得能 とらぬ	毒害 とらご
	伴 とら	鯨魚 とら	登城 とら	齋米 とら	常盤井 とら	徳政 とら	得道 とら
	燈火 とら	問丸 とら	闕 とら	非時 とら	齋料 とら	弔 とら	毒絶 とら

(2) 四言

五十七

遇時	長	同宿	同名	胴膨	蕃椒	桃印符	貪著
とくわい	とくわい	とくわい	とくわい	とくわい	とくわい	とくわい	とくわい
菟裘之地	薛蔓	獨活	鬪諍	同行	銅駝坊	統領	鈍頑
とくわいのち	とくわい	とくわい	とくわい	とくわい	とくわい	とくわい	とくわい
伽婢子	德大寺	童子教	同性	同郷	豆花雨	棟梁	頓病
とくわい	とくわい	とくわい	とくわい	とくわい	とくわい	とくわい	とくわい

五言

五十八

鯨波	劣駑馬	遠江	遠里小野	斗柄東指	執行	左之右之
とくわい	とくわい	とくわい	とくわい	とくわい	とくわい	とくわい
同士軍	途方暮	遠山摺	遠山摺	取繕	取扱	六言
とくわい	とくわい	とくわい	とくわい	とくわい	とくわい	
歳男	不問談	遠侍	遠侍	取失	十眠	
とくわい	とくわい	とくわい	とくわい	とくわい	とくわい	

文章假字用格卷一

黄葉園藏

攝津住吉郡の地名 主人よりとの唱ふ同字の地名  
山城の国愛宕郡より

連文の哥



も ひ ぶ ふ うら そ れり 不

融大臣	とらのおと	取紛	とりまがごころ
姘女夫	どれあひめ	抖藪行人	とさうあんぎや
屠蘇白散	とそびやくさん	虎子涉	とらのこつし
春宮大夫	とらうぐうだふ	東坡先生	とらうばせんせい
都曇荅臘	とらうくらら	斗指東南	とらうしとうあん
登商令	とらうあやうれい	十編菅薦	とらうのすがらも
祈年祭	とらうごひやうり	土百姓	とらうびやくあやう
土俵鞠	どひやうく	伴造	ともものまつこ

八十伴緒の職掌の部類  
 文章假字用格卷一

黄葉園藏

よ む う みきふ 去

十禪師	とらうのひざ	豊岡姫	とらうのひめ	豊芦原	とらうあしはら
筋斗	とらうがうり	靖鈴の飛久	とらうとらう	貪狼星	とらうらうせい
遁世人	とらうせんせい	東方朔	とらうとうさく	透頂香	とらうとうかう
東海道	とらうとうかい	東叡山	とらうとういざん	道成寺	とらうとうじやう
陶淵明	とらうえんめい	土茯苓	とらうどふりやう	四刻	とらうしこく
賑給	とらうぢきふ	五月は行く	とらうごご	鴉尾琴	とらうおし
富緒川	とらうおのぶ	和州平群郡の名所	とらうへいぐん	斗指南方	とらうしなん
年終	とらうねんしゆう	度嶂散	とらうたさう		

七言

五言 六言

五十九

八言

失途方

とつうとうめい

遠神善視賜

とやうぜんしんめい

龜卜の占詞より又三種の大後

頓證菩提

とんじやうびだい

等活地獄

とうかつぢやく

同氣相求

どうきあひもとむ

九言

戸隱明神

とぶしめいじん

燈臺跋暗

とうだいめくら

頭中將

とづのちゆうしやう官

磨而不磷

とげどもうららげ

論語の語めり堅きこと

うむつ ねえ

けうか

よ の ら ち

自 十言 至 十六言

豊明節會

とよのあうりのせらゑ

公事

主殿伴造

ものりれいものまづこ

主殿寮の被官

虎嘯風生

とらうふうせい

燈滅益光

とりのびやく

経説のたへん

知部

一言

知チ 知智池遲馳陳稚致恥檄咎清音 治地尼施泥  
塗貳膩濁音

二言

祖父	ぢい	鈞	りい	千磐	ちばん
千葉	ちばな <small>上総郡名</small>	千穂	ちほ	千重	ちぢゅう <small>今俗より木と稱すは是なり</small>
契話	ちがわ	除	ぢよ	女	ぢよ
陣	ぢん	沈	ぢん	塵	ぢん
帙	ぢつ <small>書帙</small>				

むつよわらへりこい

晝

らう

耐

らう

宙

らう

紂

らう

竺

ぢく

舳

ぢく

軸

ぢく

地下

ぢげ王人の外と云

千枝

ちえ

地味木は枝の多くあまて

ぢみ年貢の外は地子で農家と云

致仕

ちし

帙官と辞して位階と辞せざるあり

地子竹とらして書物や包むりの源氏物語に見ゆ

智惠

ちゑ

帙官と辞して位階と辞せざるあり

地子竹とらして書物や包むりの源氏物語に見ゆ

智惠

ちゑ

三言

支那

ちなん

血ちのふは今の阿蘭陀人の言して支那の轉音

痔漏暦の下段あり

地頭

ぢとう

茅原

ちのら

智謀このきり衣

地頭ちとう

地頭

ぢとう

池鯉鮒地名

ちりふ

地割

地割ちわり

道別

ちべつ神代紀とあり

文章假字用格卷一

黄葉園藏

わりのかえりい すゑ 去みゆえけく う

地也

ゆさこ

文章假字用格卷一 (り)	除目	住 <small>同</small>	蟲 <small>同</small>	智勇	地獄 <small>佛説</small>	聴	醸	場
	治世 <small>をいふ世</small>	誅 <small>同</small>	柱 <small>突はらぬ</small>	中 <small>漢音ハラウ</small>	千聲 <small>声の多し</small>	著	打	腸
	經絡 <small>血筋</small>	頭 <small>漢ハツ</small>	注 <small>同</small>	仲 <small>上三同ト</small>	持齋	智計	貞	嬢
		痔疾 <small>病</small>	註 <small>同</small>	忠 <small>同</small>	地藏 <small>佛名</small>	持佛 <small>常身こそ持佛</small>	頂	娘
	らり	らゆう	らゆう	らゆう	らごく	らちう	らちう	らちう
	らせい	らゆう	らゆう	らゆう	らごん	らちう	らちう	らちう
	らすら	らゆう	らゆう	らゆう	らけい	らちう	らちう	らちう
	らちう	らゆう	らゆう	らゆう	らごん	らちう	らちう	らちう

黄葉園藏

やくれのおり

よか

疔 <small>腫物</small>	挺	值偶	地内	地體	敘位 <small>位のゆるそ云</small>	寵	持戒
張	帳	長	地畠 <small>田畠</small>	遲滯	勅 <small>天子のまこと</small>	濃	違
丈	定	町	晝夜	馳走	濁	微	誓
杖	錠 <small>駕鋤鉄</small>	丁	智音	持僧	除夜 <small>大にそられたる</small>	澄	重
らちう	らちう	らちう	らちう	らちう	らちう	らちう	らちう
らちう	らちう	らちう	らちう	らちう	らちう	らちう	らちう
らちう	らちう	らちう	らちう	らちう	らちう	らちう	らちう
らちう	らちう	らちう	らちう	らちう	らちう	らちう	らちう

(り) 二言 三言

六十二

文章假字用格卷一 (り)	恥辱 <small>ちじよく</small>	柱礎 <small>ちゆうそ</small>	地形 <small>ちけい</small>	直奏 <small>ちきそう</small>	茶瓶 <small>ちやびん</small>	長吏 <small>ちやうし</small>	停止 <small>ちやうじ</small>	長夜 <small>ちやうや</small>	竹園 <small>ちやくゑん</small> <small>親王の異名</small>
	智恵輪 <small>ちゑりん</small> <small>寺主のり</small>	住持 <small>ぢゆうぢ</small>	重祚 <small>ぢゆうそ</small>	持經 <small>ちききやう</small>	地骨皮 <small>ぢこくひ</small> <small>薬</small>	著衣 <small>ちやくい</small>	丁子 <small>ちやうじ</small>	長座 <small>ちやうざ</small>	茶入 <small>ちやうに</small>
	小 <small>ちひい</small>	中有 <small>ちゆうちゆう</small>	重位 <small>ぢゆうゐ</small>	兒生 <small>ちゐせい</small> <small>源氏の詞</small>	茶亭 <small>ちやてい</small>	定木 <small>ぢやうぎ</small> <small>又定規</small>	長途 <small>ちやうと</small>	茶桶 <small>ちやづき</small> <small>器</small>	茶碗 <small>ちやわん</small>
黄葉園藏	少 <small>ちひい</small>	仲尼 <small>ちゆうに</small> <small>孔子の字なり</small>	知行 <small>ちやくちやう</small> <small>采地と云同</small>	直綴 <small>ちききやう</small> <small>僧家の衣服</small>	茶苑 <small>ちやゑん</small>	張里 <small>ちやうり</small> <small>馬医</small>	丈夫 <small>ちやうぶ</small>	茶碗 <small>ちやわん</small>	

畜類 <small>ちくるい</small> <small>鳥獸といふ</small>	沈醉 <small>ちんすい</small>	陣法 <small>ぢんぽう</small>	塵芥 <small>ちんがい</small> <small>ちりぢりたのこ</small>	珍寶 <small>ちんぼう</small>	近 <small>ちか</small>	塵塚 <small>ちんづか</small>	千分 <small>ちせん</small> <small>ちがうと云</small>	四言
竹葉 <small>ちやくえつ</small> <small>酒の異名も云り</small>	紂王 <small>ちゆうわう</small> <small>人名</small>	陣營 <small>ぢんゑい</small>	陣貝 <small>ぢんがい</small> <small>やうの貝</small>	珍貨 <small>ちんか</small> <small>上三同</small>	昵 <small>ちひ</small>	塵土 <small>ちんと</small>	治定 <small>ぢぢやう</small>	(り) 三言 四言
竹實 <small>ちやくじつ</small> <small>竹のけのこ</small>	晝食 <small>ちゆうじき</small>	鎮守 <small>ぢんしゆう</small> <small>ふすまの神と云</small>	陣座 <small>ぢんざ</small>	鎮東 <small>ぢんとう</small> <small>地名</small>	重五 <small>ぢゆうご</small> <small>五月五日と云</small>	塵泥 <small>ちんじ</small>	蜘蛛 <small>ちゆうしゆ</small> <small>ちゆうしゆ</small>	六十三
竹茹 <small>ちやくじよ</small> <small>ちやくじよと云同</small>	逐一 <small>ぢゆくいつ</small>	鎮西 <small>ぢんせい</small> <small>九州と云</small>	沈香 <small>ちんかう</small>	濁世 <small>ぢやくせい</small> <small>よごれたる世</small>	艶書 <small>ちやくしよ</small>	散交 <small>さんかう</small> <small>花のちりちり</small>		

持病 ぢびやう

四言 五言

六十四

五言

千五百秋 ちのやあき

道速振 ちのやぶる

古言ハサヨロトモコ意之後世ハ  
神ノ枕詞ノ用

合血 ちとあひ

違棚 ちがひたな

地黄煎 ぢちやうせん

斬 ちく

重疊 ちゆうたひ

女中 ぢよらちゆう

重任 ちゆうじん

寵愛 ちゆうあい

濃州 ぢゆうしゆう

重陽 ちゆうやう

勅答 ちゆうたふ

勅裁 ちゆうさい

重訂 ちゆうてい

女色 ぢよしき

陣羽織 ぢんむぎ

楮夫子 ぢよふし

塵境 ぢんきやう

中宮 ちゆうぐう

よかわをとい

む

や くおゆ

珍重 ちんちゆう

塵境 ぢんきやう

中宮 ちゆうぐう

知恩院 ちおんいん

値遇縁 ぢのえん

筑摩川 ちくまがわ

畜生 ちゆうしやう

長久 ちゆうきゆう

長壽 ちゆうじゆう

長命 ちゆうめい

長生 ちゆうせい

長日 ちゆうじつ

長髮 ちゆうはつ

長者 ちゆうちやう

長老 ちゆうらう

長南 ちゆうなん

長星 ちゆうせい

長安 ちゆうあん

長北 ちゆうほく

頂戴 ちゆうたい

帳内 ちゆうない

聽聞 ちゆうぶん

廳廷 ちゆうてい

聽衆 ちゆうしゆう

廳宣 ちゆうせん

丈人 ちゆうじん

黄葉園藏

文章假字用格卷一

檢非違使別當の  
下ノ文ニシ

尊嚴の稱

京の寺院

禽獸

音音キフ常ハチクヤクニ云

本字ハ廳南ニシ

富貴の人ニ云

妖星ニシ

主人のワケニシ

聽聞の衆ノこと

座の世の中ニシ

信州ニシ

再ハレハ官ニシ

九月九日

紙

馮具

血合ハ我子ハハ合ハ  
人の子ニシ

天子ハ御答ニシ

皇后ノこと

食

貞能	張前	張本
<small>矢のこし</small> らぢうのう	<small>ラ場云所</small> らぢうまへ	らぢうほん
定業	丈六	町代
ぢぢうごふ	<small>勝くむて云</small> ぢぢうろく	らぢうだい
脹満	脹腫	著服
らぢうまん <small>病</small>	らぢうしゅ <small>同</small>	らぢうふく
著到	嫡流	著陣
らぢうたう	らぢうりゅう	らぢうぢん
持佛堂	千枝村	藤緊
ぢぢうぶたう	らぢえむら <small>江州地名</small>	らぢうきん <small>木の合せありらぢうてん</small>
重代	重服	重過
ぢぢうだい	ぢぢうふく	ぢぢうか
重恩	重言	重罪
ぢぢうおん	ぢぢうげん	ぢぢうざい
忠孝	忠貞	忠恕
らぢうかう	らぢうてい	らぢうじよ
中道	中興	中庭
らぢうだう	らぢうかう	らぢうてい <small>庭中と云同ト</small>

ら

五言

六十五

中央	中庸	中堂
らぢうちゆう	らぢうちゆう <small>書名</small>	らぢうだう
仲陽	仲秋	仲冬
らぢうちゆう <small>二月</small>	らぢうちゆう <small>八月</small>	らぢうとう
中膈	中間	中條
らぢうかく <small>中品の人とり</small>	らぢうかん <small>つらな</small>	らぢうぢゆう <small>氏</small>
中啓	中風	中陰
らぢうけい <small>扇子の名あり</small>	らぢうふう <small>病</small>	らぢういん <small>人死して七日の間</small>
中華	任僧	註解
らぢうちゆう <small>唐土の人自ら其邦を稱するあり</small>	らぢうじゆう	らぢうけい <small>書の註あり</small>
任屋	智仁勇	誅罪
らぢういん <small>住居のこと</small>	らぢうちゆう	らぢうざい
角力	千代能山	勅諭
らぢうりき	らぢよのやま	らぢうごん <small>しんごのついで</small>

六言

文章假字用格卷一

黄葉園藏

やく

ゆふ

ひ

竹酔日	らくすのあし	五月十日七月八日八月八日此日付て うしろいよと日とりのこと	打擲	らあうらあ	
長春	らあうらあ <small>花</small>	長講會	らあうらあ <small>人名</small>	丁子漆	らあうらあ
長曾我部	らあうらあ <small>氏</small>	張良	らあうらあ	茶臼山	らあうらあ <small>大坂天王寺の辺なり</small>
長病	らあうらあ	頂上	らあうらあ	治部大輔	らあうらあ <small>官</small>
持經者	らあうらあ	忠賞	らあうらあ	中旬	らあうらあ <small>月の中旬十日とりの</small>
中浣	らあうらあ <small>支麻 中旬と同ト</small>	中將	らあうらあ <small>官</small>	任職	らあうらあ
中腕	らあうらあ <small>支麻</small>	重病	らあうらあ	禪	らあうらあ <small>袴のまこゆとりの</small>
短刀	らあうらあ	千引石	らあうらあ	千人引	らあうらあ <small>千人引とりの 盤石とりの</small>

五言 六言

六十六

むか

す

千賀鹽竈	らあうらあ <small>奥州官城郡とあり</small>	沈丁花	らあうらあ <small>オ</small>
鎮懷石	らあうらあ <small>筑前怡土郡とあり</small>	智恩報徳	らあうらあ
長生殿	らあうらあ	長公主	らあうらあ <small>天子の姉妹と云</small>
長流水	らあうらあ	長奉送使	らあうらあ
齋宮を伊勢へ送り 奉る人なり		張果老	らあうらあ <small>人名</small>
以血洗血	らあうらあ	幘	らあうらあ <small>婦人の喪冠なり</small>
中和節	らあうらあ <small>二月朔日</small>	忠仁公	らあうらあ <small>人名</small>
地水火風	らあうらあ		

七言

文章假字用格卷一

黄葉園藏



八言

竹馬戯

ちまのたごめ

長者原

筑前古戦場

ちやうどやがめ 地名

著到帳

來集は人名と記す帳面とす  
ちやうたうちやう

中將姫

ちやうぢやうひめ 人名

中天横死

死 非業死といふ  
ちやうえうちよ

地鎮祭

ぢぢめのもつり

智者不迷

ちやいまいぶ

九言

以血洗血

ちよりてちよめ 諺

鎮東將軍

鎮守府將軍其唐名なり  
ちんとくちやうじん

長汀極浦

ちやうていごくふ

十言

十一言

やむを

志 由 やく

著馱政

ちやくたのまろりごと

五月、行ふ公事へ

長者不飽富

ちやうぶあふふ

諺

忠言逆耳

ちやうげんぎやくみ

諺

利部

一言

りり 利喇黎釐里理離隣

二言

龍 たつたう りう

流 りう

雷 りう

溜 りう

柎 りう

隆 りう

立 りう

粒 りう

三言

離婁 孟子の篇名 りろう

李白 人名 りく

利害 りく

龍 吳音 りろう

よかろ

ふ り

むた

やく

きこ

陵 りろう

凌 あつらふ りろう

綾 うろのあや りろう

利刀 りたう

臨時 りんど

輪廻 六道輪廻をて罪深き者うむてかかると云ふ りんご

龍頭 りんご

輪鼓 音 りんこ

流沙 地名 りうさ

流義 りうぎ

梨花 かほ花 りら

魎 魎魎 りちう

利養 りちう

靈 怨天 りちう

良 りちう

兩 りちう

亮 りちう

梁 りちう

量 りちう

糧 りちう

涼 りちう

令 りちう

冷 りちう

領 りちう

利口 りちう

離縁 りえん

離宮 天子は出遊は宮 りきう

四言

文章假字用格卷一の

黄葉園藏

く り む つ よ

龍神	流滄	流例	流行	龍燈	隣郷	立秋	律法	旅行
アキシム	アキウツイ	アキウツイ	アキウツウ	アキウツウ	アキウツウ	アキウツウ	アキウツウ	アキウツウ
流星	龍象	龍腦	立用	柳絮	林檎	輪寶	立冬	綾羅
アキセイ	アキゾウ	アキノウ	アキユウ	アキフク	アキゴウ	アキゴウ	アキトウ	アキウツウ
流水	柳營	柳黛	龍王	輪藏	輪燈	律僧	閻巷	
アキスイ	アキエイ	アキタイ	アキウツウ	アキゾウ	アキゾウ	アキゾウ	アキゾウ	アキゾウ
六合	琉球	龍堂	龍顏	溜飲	臨幸	立身	閻六里の門 巷ハ 田の道あり	
アキウツウ	アキウツウ	アキウツウ	アキウツウ	アキウツウ	アキウツウ	アキウツウ		

三言 四言

六十九

む つ よ ひふ や

臨光	綠草	慮外	靈供	良夜	六藝
アキウツウ	アキウツウ	アキウツウ	アキウツウ	アキウツウ	アキウツウ
臨濟派	律令	旅館	領地	領解	六朝
アキウツウ	アキウツウ	アキウツウ	アキウツウ	アキウツウ	アキウツウ
隣境	律宗	綠苔	良醫	兩部	兩義
アキウツウ	アキウツウ	アキウツウ	アキウツウ	アキウツウ	アキウツウ
立花	立身	立秋	立用	立寶	立冬
アキウツウ	アキウツウ	アキウツウ	アキウツウ	アキウツウ	アキウツウ

五言

礼樂射御書數

晋宋齊梁隋の  
六代ヤウマ

京師六角堂の僧一流の生花  
ヤウマヤウマ是也池坊流ト云

文章假字用格卷一

黄葉園藏

悵惜	アムンぢやく	臨終	アムンぢやく	林鐘	アムンぢやく
淋病	アムンぢやく <small>病</small>	柳下惠	アムンぢやく <small>人名</small>	龍造寺	アムンぢやく <small>氏</small>
龍章	アムンぢやく	經卷より其文彩よ	柳子厚	アムンぢやく <small>人名</small>	
陸梁	アムンぢやく	の曲折せしこと	諒闇	アムンぢやく	
天子れ喪ころりせ	アムンぢやく	アムンぢやく	兩替	アムンぢやく	
良媒	アムンぢやく	領納	兩替	アムンぢやく	
中人のこころ	アムンぢやく	領主	領分	アムンぢやく	
領内	アムンぢやく	良辰	良友	アムンぢやく	
婦人より夫	アムンぢやく	吉日のこころ	良人	アムンぢやく	
さしてりて	アムンぢやく	涼月	涼天	アムンぢやく	

四言五言

七十

靈山	アムンぢやく	立願	アムンぢやく	利根草	アムンぢやく
天竺の山の名	アムンぢやく	呂洞賓	アムンぢやく	流觴會	アムンぢやく
力量	アムンぢやく	龍頭蛇	アムンぢやく	僧隆達かうひ出せ	
六言		隆達曲節	アムンぢやく	小歌	
説利害	アムンぢやく	柳花苑	アムンぢやく	甘諸	アムンぢやく
龍眼肉	アムンぢやく	龍涎香	アムンぢやく	琉球	アムンぢやく
龍腦香	アムンぢやく	良將	アムンぢやく	理當然	アムンぢやく
琉球薯	アムンぢやく	文章假字用格卷一			
領掌	アムンぢやく				

黄葉園藏

七言

閻巷説

アヨコウのセウ

六甲秘呪

アロクヒド由

道家は九字あり邪魅  
衆難と避るれ咒

臨機應變

アンスオウハ人

臨時祭

アノドのまつり

龍膽花

アヲレンのよ艸

龍宮城

アウゴウギヤウ

琉球躑躅

アウキウツ木

兩頭蛇

アウツウツ虫

八言

綾羅錦繡

アヤウラキンスウ

兩部習合

アウツウツ神佛一致の美

九言

やよ

龍頭鷓首

アウツウツ舟のこしげしゆ

良智良能

アウツウツ

不見兩夫

アウツウツ貞女まきまきえび

十言

十一言

十二言

綸言如汗

アウツウツ

天子の号令ハ汗のワツガ  
アツク出てウツク

臨終正念

アウツウツ

良藥苦口

アウツウツ

諺

兩雄不俱立

アウツウツ

兩虎二龍鬪

アウツウツ

奴部

二言 三言

七十二

一言

ぬ

又 奴怒努弩農濃

農濃二字古ハ奴の假字 あり和名抄の頃より乃の假字より用ふるハ誤り

二言

鶴 ぬえ鳥

鷓 ぬえ同

縫殿 ぬい官名

縫 ぬいぬいぬい

三言

額田 ぬぐ氏

奴隸 ぬれい下男のてい云

尊 ぬま水草

温井 ぬくぬくぬく

ひま くなれか

縫目 ぬいぬ

緘 ぬいぬ

綜緝 ぬいぬ

縫緒 ぬいと

拭 ぬぐぬぐぬぐ

沼津 ぬまづ地名

沼江 ぬまえ

縫緒 ぬいと

ひきけ まれ かりそ

四言

射干玉 ぬいぬいぬいぬい夜の枕詞

塗板 ぬりた

塗桶 ぬりたぬりた

稽首 ぬくづ

叩頭 ぬくづ礼拝す

饅茹 ぬまえ食物

沼井 ぬまのぬまのぬまの

沼水 ぬまづ

拔出 ぬけら抜羣れぬ

施索 ぬま馬具

縫合 ぬいぬ

繡 ぬいぬ

五言

沾通 ぬれぬり

萬葉ありぬれぬり通り行る

抜叅 ぬけまわり

庶人庶人ハ神宮へ参詣す

奴要子鳥ぬえ

六言

文章假字用格卷一

黄葉園藏

え けれ

ぬ塗籠藤 ぬりごむらう  
 布帽額 ぬめりごむらう  
倚廬の御所一布のぬらひ

七言

精細人 ゆけあめさひと  
 偷長 ぬびびりのおと

八言

額田明神 ぬらとみかみ  
伊勢あり

留部

一言

**る**  
 留流琉瑠類累盧蘆屢樓

二言

類 たぐひ るお  
 累 るお  
 涙 るお

三言

流通 通達する るつう  
 流罕 るらう  
 類句 詩哥の類句 るわく  
 累祖 先祖代と云り るおそ

流刑 島が るけい  
 流罪 遠島なり るざい  
 畱守居 るいゐ

四言

文章假字用格卷一 **る**  
 七十四 黄葉園藏

おりち

る 二三四六七言

七十四

流注 るちち病

瑠璃鳥 るり鳥

類同 るねど

淚竹 るね斑竹

淚行 るねう

累代 るねたい

類題 るねど

類例 るねれい

類火 るねくわ

淚痕 るねこん

累葉 るねえふ

奕葉 るねえふ

累日 るねじつ

類燒 るねせう

累七 るねしち

人死して七日の追善を累七といふ又齋七とも云り

六言

流支三藏 るしさんざう

人名

七言 九言

縲紲恥

るねせいのし

ふいぬようるこるこるこ

以類聚

るねてりてしのまる



遠部

一言

をヲ 袁遠乎呼弘鳥鳴鳩怨越叫惋迴日惡汗音男

陽夫士丁雄牡尾小少緒絃麻苧峯岑岡丘侵矣訓

二言

伯母 をバ 終 をへ 遠 をら 伯父 をぢ

老翁 をぢ 藝臺 をら菜 圈檻 をり 獸とてあや 所とて?

折 をりき 居 をりき 唯 應ずる声なり をり 丘 をり

岡 をり 小田 をり 嘘 今とていふをそ 獺 をそ獸

をれかを り ちい

を二言

七十五

むつ

のう けこ 碁 去 びま

む

乙 ぼつ 温 ん 穩 ん 遠 ん 漢ハん

園 同 上 ん 苑 同 上 ん 翁 ん 雄 ん

小野 をの 芥 をの 眞 屋 をく 麻笥 をげ

桶 をけ 器 鳴呼 をこ 長 をこ 箴 を 機具

萩 をさ 草 小忌 をこ 神事ニ用ふる 衣服あり 惜 を

愛 を 食 を 鴛鴦 を 鳥 麻殖 を 阿波郡名

甥 をい 鴛鴦 をい 鴛鴦 をい

三言

蛇 をら 虫 終 をり 尾張 をり 國名 小畑 をり 地名

文章假字用格卷一

黄葉園藏

					とや	かや	くのうむ	けや
夫	他田	小篠	喚	教	方益 <small>方益</small>	畢	四言	文章假字用格卷一
をう	をう <small>駿河郷名</small>	をう	をう	をう	をう	をう		
鱸魚	治	專	女	訓	惜	前年		
をう <small>魚</small>	をう <small>をう</small>	をう <small>長女の意あり</small>	をう	をう	をう	をう		
苧桶	修	鮓	牡鹿	愛	愛	前日		
てごけ	をう	をう	をう <small>今んまを唱ふハ音便あり</small>	をう	をう	をう		
小澤	納	小鹽	折敷					
をう <small>氏</small>	をう	をう <small>竹をりて魚を貫くや</small>	をう					

尾花	踊	少女	小川	麻幹	犯	小内	小栗	小止
をう <small>草</small>	をう	をう	をう	をう <small>草</small>	をう	をう <small>信濃郷名</small>	をう <small>氏</small>	をう
芒花	雄	岡部	拜	小槻	牡馬	麻鞋	小股	
をう <small>草</small>	をう <small>今俗に女とく誤之處女幼女わび書べ</small>	をう	をう	をう <small>氏</small>	をう <small>獸</small>	をう	をう <small>氏</small>	
尾株	男	越度	尾形	惡寒	遠流	小野木	童男	陽松
をう <small>馬の尾の骨</small>	をう	をう	をう	をう	をう	をう <small>氏</small>	をう	をう <small>木</small>
躍	未通女	折句	緒方	可咲	尾上	小倉	白朮	
をう	をう <small>万葉集</small>	をう	をう <small>氏</small>	をう	をう <small>地名</small>	をう <small>京師の地名</small>	をう <small>草</small>	

二言 三言

七十六

黄葉園藏

條 <small>をら</small>	遠方 <small>をら</small>	彼方 <small>をら</small>	遠近 <small>をら</small>
遠里 <small>をら</small>	折節 <small>をら</small>	折柄 <small>をら</small>	折紙 <small>をら</small>
折櫃 <small>をら</small>	楓 <small>をら</small>	折琴 <small>をら</small>	小田切 <small>をら</small>
温湯 <small>をら</small>	世爽利 <small>をら</small>	苧環 <small>をら</small>	小田切 <small>をら</small>
温和 <small>をら</small>	遠國 <small>をら</small>	怨念 <small>をら</small>	妾 <small>をら</small>
性 <small>をら</small>	男兒 <small>をら</small>	温公 <small>をら</small>	穩便 <small>をら</small>
備後の国御調郡の地名あり	小車 <small>をら</small>	小野寺 <small>をら</small>	尾道 <small>をら</small>
蒙籠 <small>をら</small>	小山田 <small>をら</small>	小栗栖 <small>をら</small>	小車梅 <small>をら</small>
		男衾 <small>をら</small>	了事 <small>をら</small>

三言 四言

七十七

稚 <small>をら</small>	小兒 <small>をら</small>	小字 <small>をら</small>	治 <small>をら</small>
理 <small>をら</small>	納 <small>をら</small>	長船 <small>をら</small>	荻原 <small>をら</small>
和尚 <small>をら</small>	飲食 <small>をら</small>	食國 <small>をら</small>	葦 <small>をら</small>
五言	赤箭 <small>をら</small>	草 <small>をら</small>	
男親 <small>をら</small>	男文字 <small>をら</small>	真書 <small>をら</small>	平假名 <small>をら</small>
遊俠 <small>をら</small>	俠客 <small>をら</small>	茶花 <small>をら</small>	草 <small>をら</small>

文章假字用格卷一

黄葉園藏

か む けく みさ ひま とと ち

符菴	草	四五六言	七十八
茵芋	草		
小笠原	氏		
温石			
鳴呼者			
小忌衣			
小倉山	山城葛野郡あり		
治世			
小鹽山	山城七訓郡あり		
六言			
姨捨山	信州あり		
男踏歌	正月十四日あり公事あり 女踏哥同十六日あり		
遠方人			
懂柄	楠の梁の左右の柱をとり		
鱧			
陽神	陰神 神代卷に見えり		
寡			
懼怕			
喚叫			

か む けく の むら みさ

遠賀湊			
女使	江州志賀郡あり世々 三井寺あり		
女道			
園城寺			
苧屑頭巾			
七言			
百千返鳴			
女工			
尾上社	伊勢渡會郡あり		
小野道風	人名		
治部省	官名		
女郎花月			
八言			
九言			

文章假字用格卷一

黄葉園藏

岡本都

岡本都のりやこ

大和の國あり人皇  
三十五代舒明天皇

修理職

修理職のりやこ

官名

文章假字用格卷之一終

